



ふくしま SDGs



キビタン©福島県



ふくしま応援!『ベコ太郎』

推進プラットフォーム 取組集 ~ 令和6年度 ~



～ もくじ ～

▶ふくしまSDGs推進プラットフォームについて…………… 6

▶プラットフォーム 令和6年度 of 取組…………… 7

▶プラットフォーム 活動の経過（令和5年度以前）…………… 8

▶SDGs of 取組応援メッセージ…………… 10

▼プラットフォーム会員の皆様の取組集…………… 13～109

団体名（50音順）	所在地	主な取組	頁
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 福島支店	郡山市	SDGs 経営簡易診断サービスの実施	14
生活協同組合あいコープふくしま	郡山市	生産者交流会	15
公立大学法人 会津大学	会津若松市	理工系分野の女性活躍推進	16
会津坂下町	会津坂下町	SDGs による施策管理	17
会津若松市	会津若松市	「スマートシティ会津若松」の推進	18
愛twoランドみなみ	南会津町	里山林と有機農地をつなぐ循環社会	19
アサヒグループジャパン株式会社	東京都	水源地の森保全活動	20
イオン東北株式会社 福島事業部	福島市	使い捨てプラスチックごみの削減に向け、県・町のキャラクター 入り買物カゴで環境啓発	21
石橋建設工業株式会社	本宮市	被害者支援	22
猪苗代町立猪苗代中学校 総合文化部	猪苗代町	ヨシ回収→紙すき、草木染め	23
医療創生大学	いわき市	地域公開講座「薬と食品の間にあるものー機能性表示食品 の功罪；紅麹サプリを例としてー」	24
いわき市	いわき市	藤原土曜学習（藤原SDGs）	25
いわき市中央卸売市場協会	いわき市	市場内一斉清掃	26
おたま村づくり株式会社	大玉村	「エシカル消費」で持続可能な社会をつくろう	27
一般社団法人オープンデータラボ	福島市	自治体SDGs イベントにおける講演	28
小名浜海陸運送株式会社	いわき市	社会貢献活動	29
一般社団法人CARNIVAL WORKS	郡山市	anneau café（あのかフェ）	30
ガールスカウト福島県連盟	福島市	明日へ繋ぐふうせんかずらの旅プロジェクト	31

団体名（５０音順）	所在地	主な取組	頁
葛尾創生電力株式会社	葛尾村	葛尾スマートコミュニティの構築・運営	32
金田建設株式会社	郡山市	EV充電スタンド普及設置事業	33
株式会社カネバン 福島工場	石川町	様々な植物残渣や貝殻等を利用したボタニカルトレーの製品化プラン	34
カネパッケージ株式会社	白河市	マングローブの植林活動	35
株式会社亀岡工務店	福島市	古材の再利用による 主な取組 二酸化炭素排出量の削減	36
神田工業株式会社	鏡石町	健康経営	37
北塩原村	北塩原村	裏磐梯・曲沢沼コカナダモ防除作業	38
株式会社共和建商	白河市	KYOWA大感謝祭、見学会の開催	39
組木屋えんどう	いわき市	産学官連携による伝統芸能継承への貢献	40
光建工業株式会社	郡山市	みんなの里山を未来へ「企業の森林づくり活動」実施	41
郡山医療生活協同組合	郡山市	地域住民と専門職のパートナーシップによるヘルスプロモーション（健康づくり）活動	42
郡山ザベリオ学園中学校	郡山市	企業連携型プログラム	43
郡山市	郡山市	こおりやまSDGsアワード	44
株式会社Kokage	川内村	アップサイクル商品の開発を通じた若者による持続的な地域づくりプロジェクト	45
こまがた元気会	喜多方市	空き家の撤去と更地を利用したマルシェや集いの場づくり	46
株式会社こんの	福島市	第4回 スポGOMI大会inふくしま に参加	47
さくらや いわき店	いわき市	学生服回収BOXの設置	48
合同会社シナプス	東京都	SDGs／カーボンニュートラルカードゲーム研修	49
白河市	白河市	女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業	50
セコムエンジニアリング株式会社	郡山市	社内ゴミの分別・地域清掃活動の実施	51
只見町立只見中学校	只見町	新聞紙バッグ作製および普及活動	52
伊達市	伊達市	児童の農業体験と地元作物の実食について	53
玉川村	玉川村	SDGs女研フリア	54
田村市	田村市	ぼくの、わたしの、おさがり交換会	55
特定非営利活動法人チームふくしま	福島市	福島ひまわり里親プロジェクト	56
天栄村	天栄村	天栄村SDGs宣言制度「てんえいSDGsパートナー」	57
一般社団法人tenten	福島市	移住・転入者が暮らしやすい福島づくり	58

団体名（５０音順）	所在地	主な取組	頁
東京海上日動火災保険株式会社 福島支店	郡山市	ふくしまマルシェの開催@東京(本社ビル)	59
株式会社東邦銀行	福島市	「TOHOキッズcafeキャラバン」	60
一般財団法人とうほう地域総合研究所	福島市	機関誌「福島の進路」等による情報発信・情報共有	61
株式会社ナプロアース	伊達市	サーキュラーエコノミーの実現と世界標準化、リサイクル活動の認知活動	62
学校法人成田学園 幼保連携型認定こども園 希望ヶ丘こども園	郡山市	食の大切さを知る	63
株式会社二嘉組	郡山市	働きがいのある、働きやすい職場環境づくり	64
西田精機株式会社	会津若松市	GXの推進でCO2排出削減と循環型社会の実現を！	65
ニプロファーマ株式会社 鏡石工場	鏡石町	消灯確認の呼びかけ掲示	66
日本クリーンシステム株式会社	小野町	ペットボトルキャップ支援（ワクチン寄付）	67
日本たばこ産業株式会社 福島支社	郡山市	Rethinkフォーラム	68
野木沢地区自治協議会	石川町	交通事故啓発活動（3-6）	69
ノボ ルディスク ファーマ株式会社 郡山工場	郡山市	廃棄物は宝物、マテリアルリサイクル、再利用化	70
野村證券株式会社 福島支店・郡山支店	栃木県	『「野村まなぼう教室」サイコロゲームで輸入体験！』を実施	71
林興業株式会社	いわき市	ICT施工を活用した施工管理	72
有限会社光自動車	郡山市	リサイクル部品の推進によるCO2の削減	73
株式会社福産建設	石川町	社内におけるSDGs取組の推進	74
ふくしまSDGsネットワーク（FSN）	郡山市	SDGs出前講座	75
ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム	福島市	ふくしまSDGsプロジェクト	76
福島学院大学	福島市	地域マネジメント学科有志による「キクラゲを通して、福島の環境、農業、未来を考える」プロジェクト	77
一般社団法人福島県環境測定・放射能計測協会	福島市	「食と放射能説明会～12市町村座談会～」の開催	78
公益財団法人福島県国際交流協会	福島市	やさしい日本語普及促進事業	79
公益財団法人福島県産業振興センターエネルギー・エージェンシーふくしま	郡山市	福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会の運営	80
公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会	福島市	スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト（パラスポーツ出前講座）	81
福島県商工会女性部連合会	福島市	レジ袋削減「エコバッグ作成」	82
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会	福島市	持続可能な森林経営への支援	83
公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構福島県男女共生センター	二本松市	未来館フェスティバルの実施	84
福島県ユニセフ協会	福島市	出前授業	85

団体名（５０音順）	所在地	主な取組	頁
福島県立あさか開成高等学校	郡山市	WITH（一緒に）♥ Take Action!を合い言葉にした活動「ふくしまゼロカーボンへの挑戦!」	86
福島コンピューターシステム株式会社	郡山市	地中熱利用システムを導入	87
福島市	福島市	東北初！福島市土湯温泉・高湯温泉のゼロカーボンパーク登録	88
福島市子ども食堂NET	福島市	子ども食堂の運営支援	89
株式会社福島タネセンター	須賀川市	スマート農業技術の確立による生産性の大幅向上と農業の魅力発信	90
福島防水株式会社	郡山市	全社員の健康維持と能力開発向上	91
株式会社福島民報社	福島市	SDGs関連情報の発信・啓もう	92
福島民友新聞株式会社	福島市	ごみレス100～全国ワースト脱出作戦	93
福浜大一建設株式会社	いわき市	ICTを活用した施工管理	94
富士工業株式会社	中島村	寄付活動	95
フジモリ機工株式会社	いわき市	地域美化活動	96
北都オーディオ株式会社	いわき市	資源の循環と節電	97
ほけんネットワーク有限会社	郡山市	地域社会の防災・減災対策に活用できる各種ツールの提供	98
三井住友海上火災保険株式会社 福島支店	福島市	SDGs取組支援（出張セミナー・宣言書作成支援）	99
三本珈琲株式会社 福島支店	福島市	食品ロス削減と啓発活動	100
明治安田生命保険相互会社 郡山支社	郡山市	健康寿命の延伸	101
株式会社諸井緑樹園	南相馬市	環境保全への取り組みについて	102
大和電設工業株式会社	いわき市	水素燃料電池トラックの活用	103
株式会社ユニフォームネット	東京都	使用済みユニフォーム再資源化プロジェクト推進	104
株式会社ヨークベニマル	郡山市	店頭における資源物回収	105
有限会社吉田工作所	大玉村	廃棄品を再生原料化への推進	106
リコージャパン株式会社 福島支社	郡山市	SDGsと事業の同軸化と脱炭素ソリューション	107
株式会社リビングソーラー	いわき市	脱炭素社会に向けた人づくり	108
渡辺エンジニアリング株式会社	福島市	太陽光発電による社用EV車の充電	109

▶福島県総合計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110

ふくしまSDGs推進プラットフォームについて

1 プラットフォームについて

持続可能な県づくりを進めるにあたっては、2015年の国連サミットで決定した国際社会の共通目標である「持続可能な開発目標」(SDGs)の達成に向けた取組が、幅広い分野や地域で展開されることが重要です。

福島県では、SDGsを入口とした、県内の市町村や企業、団体、NPOなどの多様な主体による連携・協働の機会を創出し、県づくりを推進するために、その活動の場としてプラットフォームを設置しています。

プラットフォームでは、県全域におけるSDGsの取組の一層の向上を図り、本県の課題解決に向けた取組の広がりと活性化を促進するため、「ひろがる!」「つながる!」「まなべる!」の3つの視点から、様々な活動を行っています。

SDGsに関心のある団体であれば、県内外を問わず入会可能です。(会費は無料です)

2 対象

企業、団体、教育機関、市町村、NPO、個人事業主等でSDGs推進に取り組む、又は関心がある団体 ※任意団体を含みます。

3 活動内容

- (1)SDGsに関連するシンポジウム(フォーラム)・セミナー等イベントの開催
- (2)会員が実施するSDGs関連イベントや取組の発信
- (3)会員間の連携やマッチングの支援
- (4)会員間の先導的取組・SDGsに関連する研究等の情報共有及び相互啓発
- (5)その他、目的の達成に必要な事業

4 主なメリット

- (1)ひろがる!
会員間の交流やホームページ、メルマガによる情報の発信・受信をすることができます。
- (2)つながる!
解決したい課題を持つ会員と、解決策やノウハウを持つ会員とのマッチングをサポートします。
- (3)まなべる!
セミナーへの参加や分科会の設置・参加を通じて、知見の共有や異分野連携・官民連携機会を創出できます。

5 会員登録について

会員登録申込書兼誓約書に必要事項を入力し、事務局(県復興・総合計画課)にご提出ください。詳細や会員登録申込書兼誓約書は、下記の専用ホームページをご確認ください。

<専用ホームページ>

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/sdgs-pf/>



プラットフォーム 令和6年度の取組

R6.6.5 プラットフォーム第5回セミナー (合理的配慮セミナー)

障害者差別解消法の改正により、令和6年4月から民間事業者には障がいのある方に対して合理的配慮の提供が義務化されたことに伴い、適切な対応を身につけることを目的に開催。

県障がい福祉課や日本盲導犬協会による協力の下、障がい当事者からの講話や盲導犬PR犬によるデモンストレーションのほか、参加者同士の交流会を実施。



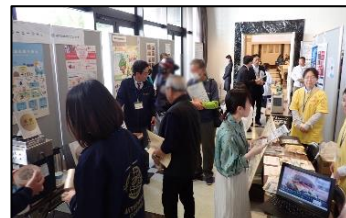
R6.9.25 「福島を知る」見学会 R6.9.30 (相双地区)

福島県の復興の現状を知っていただくため、相双地区（原子力災害伝承館、震災遺構浪江町立請戸小学校ほか）の見学会を実施。



R6.11.4 「ふくしま復興とSDGsを考える 県民シンポジウム2024」の開催

当プラットフォーム会員（10団体）のご協力の下、SDGs推進に向けた取組を多くの来場者に発信するポスターセッションを実施。



R6.12.13 「福島を知る」見学会 R6.12.17 (東京電力第一原子力発電所見学)

本県の課題解決に取り組む現場を直に見て、知っていただくため、今回は「東京電力廃炉資料館」と「福島第一原子力発電所」の見学会を実施。



R7.2.6 プラットフォーム第6回セミナー (アンコンシャス・バイアス解消セミナー)

日本語では「無意識の思い込み」等と表現されている「アンコンシャス・バイアス」について、経営者や管理職向けに「アンコンシャス・バイアス」に気づくための対処法や様々な業種の方々とのワークショップを含めたセミナーを開催。



【通年】SDGs出前講座

申込みや希望に応じ、官民間問わず出前講座を実施。

SDGsの成り立ちや基本的な考え方、県総合計画との関連や、福島県内におけるSDGs推進の取組等について説明。

また、令和5年度から「SDGs」と「身近な環境（ごみ排出量削減、エシカル消費など）」をセットにしたコラボ講座を始めた。

【開催実績】

22回 1,456名（R6年度）



プラットフォーム 活動の経過（令和5年度以前）

R3.10.18

福島県総合計画の策定

内堀県政になってから初めて作った総合計画。福島県の振興の方向性と、SDGsの目指す方向性は一致しているとの考えの下、「目指す将来の姿」をSDGsの視点でも描いたことが特徴。



計画P38-39より抜粋

R4.2.17

ふくしまSDGs推進フォーラム

次年度の「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」の正式な立ち上げに向け、県内の機運醸成につなげるために開催。

総合計画に掲げる「目指す将来の姿」の実現に向け、SDGsを入口（きっかけ）とした連携・協働による福島の未来づくりや誇りづくりの推進に向けたイベント。



R4.4.27

プラットフォーム始動（会員募集開始）

R4.6.13

プラットフォーム キックオフイベント、 第1回SDGsセミナー

ふくしまSDGs推進プラットフォームの立ち上げを県内外に広く周知するとともに、産学官共金労官等の幅広い団体が、今後、力を合わせて連携・協働を進めていくことへの機運醸成や共感につなげる。



R4.9.24
~R4.9.25

ふくしまSDGs博へのブース出展

福島民報社主催のイベント。県内外のSDGsに取り組む企業・団体がブース出展。

当プラットフォームも参加し、連携協定締結企業である東邦銀行・東京海上日動と連動したクイズラリーや自分の18番目の目標を考えてもらうコーナーなどを設置。



R4.12.8

プラットフォーム第2回セミナー （企業向け脱炭素セミナー）

プラットフォーム会員である東京海上日動火災保険(株)の協力を得て企業向けの脱炭素セミナーを実施。セミナー後には、会員同士で取組を共有し合う交流会を実施した。



R5.1.5

プラットフォーム公式SNS開設（アカウント情報はP.110をご確認下さい。）

R5.1.26

プラットフォーム専用ホームページ開設

プラットフォーム 活動の経過（令和5年度以前）

R5.3.5

「ふくしま復興とSDGsを考える 県民シンポジウム」の開催

当プラットフォーム会員からSDGs推進に向けた取組を多くの来場者に向けて発表。



R5.7.6

プラットフォーム第3回セミナー （次世代の「新エネルギー社会」を福島から世界へ！）

プラットフォーム会員である（株）東邦銀行の協力を得て企業向けに新エネルギー社会についてセミナーを実施。

セミナー後には、会員同士で情報交換や名刺交換など交流会を実施。



R5.7.11
R5.9.19

「福島の今を知る」見学会 （東京電力第一原子力発電所見学）

本県の課題解決に取り組む現場を直に見て、知っていただくため、今回は「東京電力廃炉資料館」と「福島第一原子力発電所」の見学会を実施。



R5.11.19

「ふくしま復興とSDGsを考える 県民シンポジウム2023in会津」の開催

当プラットフォーム会員（出展4団体、掲示5団体）のご協力の下、SDGs推進に向けた取組を多くの来場者に発信するポスターセッションを実施。



R5.11.22
R5.11.30

「福島の今を知る」見学会 （浜通り地区）

福島県の復興の現状を知っていただくため、今回は東日本大震災・原子力災害伝承館の見学や被災地でのフィールドワーク、中間貯蔵施設見学（11/22）浅野燃系双葉事業所を見学（11/30）。



R5.11.27

プラットフォーム第4回セミナー （健康推進セミナー）

プラットフォーム会員である東京海上日動火災保険（株）の協力を得て健康経営やメンタルヘルスについてのセミナーを実施。

セミナー後には参加者全員で健康体操を行い、交流を深めた。



R6.1.20

ふくしまSDGs推進フォーラムの開催

県内でSDGsに取り組む団体と有識者によるパネルディスカッションや、参加者交流会を実施。また、会場内ではSDGsに関する取組を行っている団体がブース出展し、クラフト体験等を通じて来場者にSDGsの取組を紹介。



SDGsの取組応援メッセージ

福島県内で活動している皆さんのSDGsの取組に対して、ふくしまSDGs推進プラットフォームのアドバイザーの方々から心強い応援コメントをいただきました。

当アドバイザーは、有識者や発信力の強い方に御就任いただいておりますが、県主催のSDGs関連イベントに御参加いただくなど、プラットフォーム会員の皆さんの活動を後押ししていただく「応援団」的存在です。



アドバイザー

おかもと まさかつ
岡本 全勝 元復興庁事務次官

1955年奈良県生まれ。東京大学法学部卒。自治省（現総務省）入省。富山県総務部長、内閣総理大臣秘書官。東日本大震災発生後は被災者生活支援本部事務局次長、復興庁統括官、復興事務次官、福島復興再生総局事務局長など、約10年間にわたり復興に従事。著書に「東日本大震災 復興が日本を変える」など。

さらに広がりましたね、地域をよくしようとする活動が。参加者の数も、取り組みの分野や方法も。

「SDGs」や「持続可能な開発目標」という言葉は、私たちから遠いもの、難しいことと感じます。しかしこの冊子に紹介されている活動は、自分たちができることであり、身近なことばかりです。地域活性化、つながりの場作り、地域の美化、省エネ・省資源などなど。一つひとつは小さなことですが、それらが積み上がると大きな成果を生みます。そしてそれが、県民の意識を変えていきます。

知恵と少しのやる気を出せば、さまざまなことができます。さあ皆さんも、一歩踏み出しましょう。

むらお のぶたか
村尾 信尚 関西学院大学教授

1955年岐阜県高山市生まれ。1978年大蔵省（現財務省）に入省。主計局主計官、理財局国債課長、環境省総合環境政策局総務課長などを経て2002年退官。公務員・NPO活動・ニュースキャスター等の豊富な経験を踏まえ、政策提言・教育研究・情報発信を行う。2003年10月より関西学院大学教授。2006年10月～2018年9月「NEWS ZERO」（日本テレビ系列）メインキャスター。



アドバイザー

継続は力なり。今回も皆さんの素晴らしい活動を知り、明日の福島は明るいと感じています。「何をするか」もさることながら「誰がするか」の観点から捉えると、企業、教育機関、自治体、NPOなど実にさまざまな主体が参加していて、プラットフォームが目指す「ひろがる！」「つながる！」が県内に確実に浸透しつつあることが分かります。「・・・ファースト」の言葉が飛び交う世界の中で、壁をつくらず橋をかける「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」の取組みはとても意義深いものです。私も引き続き応援させていただきます。



アドバイザー

やまざき なおこ
山崎 直子 宇宙飛行士

2010年スペースシャトル・ディスカバリー号に搭乗し、国際宇宙ステーション（ISS）組立補給ミッションSTS-131に従事。2011年に宇宙航空研究開発機構（JAXA）退職後、内閣府宇宙政策委員会部会委員、一般社団法人スペースポートジャパン代表理事、公益財団法人日本宇宙少年団（YAC）理事長、環境問題解決のための「アースショット賞」評議員、東北復興宇宙ミッション実行委員長などを務める。著書に『宇宙に行ったらこうだった！』（リビックブック社）など。

ふくしまSDGs推進プラットフォームのアドバイザーとして、プラットフォームの皆様のお取り組みに接し、私自身多くを学び、励まされています。

SDGsの精神は、だれ一人取り残さないことにあります。一人一人がそれぞれの地域の住民であると同時に、この宇宙船地球号の乗組員でもあり、運命共同体だと感じています。

「悲観は感情、楽観は意思」という表現があります。意思を持って希望を忘れず、行動を続けていければと思います。このふくしまSDGs推進プラットフォームを通じて、たくさんの取り組みが繋がっていき、よりよい福島をつくられること、そして、福島からさらに広がり、日本や世界の未来に繋がることを応援しております。

つだ あつし
津田 敦

東京大学理事・副学長（社会連携、産学協創、150周年）、大気海洋研究所特任教授



アドバイザー

1982年北海道大学水産学部卒業。1987年東京大学農学系研究科水産学専攻博士課程修了。東京大学海洋研究所助手、水産庁北海道区水産研究所室長、東京大学海洋研究所助教授を経て、2011年から大気海洋研究所教授。2015～19年度まで大気海洋研究所所長。2023年度より現職。専門は、プランクトン生態学。

SDGsは2015年に採択され10年が経過し、目標の2030年まで5年となりました。周知の段階は過ぎ、収穫を刈り取る段階にきていると感じています。一方、この10年でAIなどの技術革新は目覚ましく、また各種の分断など世界情勢は大きく変わりました。しかし、持続可能性という目標はこれらの変化の上位に位置する目標であることも再認識しなければなりません。

皆様の提案をみて、SDGsにかかわる多くの活動は、ものを大切にする、無駄をしない、周りの人を思いやるといった、我々が大切にしてきた文化や伝統に非常に親和性が高いものだと実感できました。皆様の取組を通じて歴史、文化、風土に根ざした活動が広がり、福島県がさらに活性化し、貧困や不平等のない世界が実現していくことを願っています。

SDGsの取組応援メッセージ



アドバイザー

あさかわ ちえこ
浅川 智恵子

日本科学未来館館長、IBMフェロー

小学校時代のプールでのけががもとで、中学2年生の時に失明。
大学卒業後にプログラミングを学び、1985年に日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所に入社。以降35年以上にわたりアクセシビリティ技術の研究開発に携わり、点字のデジタル化システムや、世界初の実用的な視覚障害者向け音声ブラウザを開発し、世界の視覚障害者の情報アクセシビリティの向上に貢献してきた。現在は、AIスツークエスの社会実装へ向けた開発、実証実験に取り組む。

福島県の皆さん、こんにちは。ふくしまSDGs推進プラットフォームのアドバイザーを務めております、日本科学未来館館長の浅川智恵子です。

令和6年度の取り組みの数々を拝見し、皆さまが地域の課題に真摯に向き合い、企業や自治体、学校、非営利団体など多様な主体が連携して活動を広げている姿に、深く感銘を受けました。新たなアイデアや挑戦が生まれ続けていることは、福島の未来に大きな希望をもたらすものです。

私は2021年から未来館館長として、「あなたとともに未来をつくるプラットフォーム」をビジョンとして掲げてきました。科学技術を体験しながら、多様な人々が集い、対話を重ね、未来への一歩を踏み出す場づくりを目指しています。

未来館のビジョンもSDGsと同じく2030年を見据えて策定しました。これからも皆さまと同じように持続可能で希望ある未来づくりに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

いだ ひろこ
井田 寛子

**特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク理事長
WWFジャパン顧問**



アドバイザー

埼玉県春日部市生まれ。春日部親善大使。筑波大学卒業後、製薬会社を経てNHK・TBS等メディアを中心に活動（ニュースウオッチ9、あさちゃん!）。

2014年ニューヨークで開かれた国連気候サミットへの参加をきっかけに気候変動問題に関心を持ち、「難しいことを分かりやすく」伝えることにこだわって学びや発信を続ける。2023年東京大学大学院広域科学専攻修士課程修了。メディアの気候変動コミュニケーションを研究し、現在、気候変動や防災に関する講演会等で活動中。

福島県は会津、中通り、浜通りと各地域で異なる気候を持ち、美しい自然とあたたかい人たちに溢れる大好きな場所です。SDGsのなかでも気候変動においては一人一人の熱意があっても連携せずには解決しない問題の一つですが、福島県では様々な立場の人たちを結ぶ素晴らしいプラットフォームが築かれ、持続的な活動が進められていることに大きな力を感じます。

福島県から未来の希望となる提案が発信され、実現していきますよう、私も微力ながら応援しています。

取組集について

プラットフォーム活性化や会員間の情報交換、連携・協働の一助となることを目的に、会員の皆様のご協力をいただき取組集を作成いたしました。

※令和6年12月に掲載取組を募り、ご提出をいただきました全96団体の皆様の取組をまとめています。

各会員の取組は、50音順に掲載しております。なお、1団体1ページ以内にまとめて掲載しております。

※上記の団体情報は令和6年12月末時点の情報となります。

※HPや担当者名が伏せられている場合もございます。

ページ下部に会員様ホームページの二次元コードを記載しておりますので、是非ご覧ください。

取組集掲載ページ

本取組集を含むこれまでの取組集のデータについては、下記のページからご覧いただけます。

▶ 本取組集（令和6年度取組集）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/sdgs-pf/info129.html>



▶ 令和5年度取組集

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/641227.pdf>



▶ 令和4年度取組集

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/561290.pdf>



会員一覧

プラットフォームに入会いただいている会員の皆様の一覧は下記のホームページに掲載しております。こちらも併せてご覧ください。

▶ 専用ホームページ - 会員一覧

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/sdgs-pf/member.html>





あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社 福島支店

主な活動場所：福島県内全域

17 パートナシップで
目標を達成しよう



主な取組①

SDGs 経営簡易診断サービスの実施

当社は19業種別のSDGsチェックシートを用いた「SDGs 経営簡易診断サービス」を無料で実施しております。地域社会の持続的な発展に向け、診断を受診されたお客様には「診断結果報告書」+「無料オンライン面談サービス」をご提供させていただきます。

このサービスにはSDGs宣言書の作成支援や自治体企業登録制度申請アシストサービスも含まれており、多くのお客様をふくしまSDGs推進プラットフォームや各市町村の自治体登録制度にご紹介させていただきます。

当サービス開始以降、本県内で500を超える企業・団体様にご利用いただき、大変ご好評いただいております。無料でご利用いただけますので是非ご利用ください。

主な取組②

SDGs カードゲームの開催

会社の根拠を超えた連携を学ぶ カードゲーム Sustainable Community



Sustainable Communityとは

人口減少、気候変動、物価の高騰など地域社会に山積する課題。これらを解決するためにSDGsをはじめとした「持続可能な社会の実現」が求められつつあります。企業は地域社会の発展のために何ができるのでしょうか。地域と企業の関係性は今後どうあるべきなのでしょう。カードゲームという体験を通じて、楽しみながら実践に考え、学ぶことがSustainable Communityです。

「地域・企業が存続・発展し続けるために、取り組むべきことにはどんなことがあるのか」を考えるきっかけになれば幸いです。

ゲーム人数	プレイ時間
個人対戦	10分～15分（個人対戦：10分～15分）
チーム対戦	15分～30分（チーム対戦：15分～30分）
所要時間	準備：5分～10分
その他	運営にはあいおいニッセイ同和損害保険のフロンティアが必須です

地域社会には、人口減少、未曾有の災害、物価の高騰など、様々な課題が山積しており、これらを解決するためにSDGsをはじめとした「持続可能な社会の実現」が待たなしで叫ばれています。

企業は地域や社会の発展のために何ができるのでしょうか。地域と企業の関係性は今後どうあるべきなのでしょう。

カードゲーム『Sustainable Community』での体験を通じて、楽しみながら学び、「地域社会・地域企業が存続・発展し続けるために取り組むべきこと」を考えるきっかけになれば幸いです。

本カードゲームは業界団体の勉強会や、企業内研修、自治体・金融機関職員様向け研修や地域の事業者向けセミナーなど様々な場面でご利用をいただいておりますので、是非開催をご検討ください。



【2024年3月田村市
職員様向け研修】



【2024年9月相双五城信用組合
職員様向け研修】

〒963-8002 福島県郡山市駅前2丁目11番1号 ビッグアイ15階（郡山支社）

【H P】 <https://www.aioinissaydowa.co.jp/>

【TEL】 050-3460-0578

【MAIL】 riyouta.tsukamoto@aioinissaydowa.co.jp（担当：塚本）





主な取組

理工系分野の女性活躍推進



本学は、コンピュータ理工学分野の女性活躍に向けた様々な取組み

「Women's Empowerment Program（女性活躍推進プログラム）」を展開中です。

- 経済支援
企業寄附金を原資に、女子学生学習奨励金（返済不要）を支給し、女性の理工系分野進出を経済面から後押ししています。
- ロールモデルとのネットワーク構築
女子学生と産業界で活躍する女性エンジニアの交流会への参加を支援しています。
- 女性デジタル人材育成
デジタル分野で活躍する女性や男女共同参画の有識者を招いて、シンポジウムを開催するなど、女性活躍社会の推進に向けた取組みを行っています。
- キャリア形成支援
「世界で最も影響力のある女性100人」に選出された清水季子氏を招き、学生や教職員を交えて座談会を開催するなど、理工系分野の女性のキャリア形成支援を行っています。
- 女性就業支援
「女性のITキャリアアップ塾」を開講し、女性の県内就業を支援しています。
- 地域との連携
「国際協力と地域づくりにおける女性活躍・人材育成の重要性」などをテーマに、会津若松商工会議所女性会との交流事業を行っています。



【ロールモデルとのネットワーク構築】



【女性デジタル人材育成】



【キャリア形成支援】



【女性就業支援】





会津坂下町

主な活動場所：福島県会津坂下町

主な取組

SDGsによる施策管理

町が実施する施策が、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」や、全ての町民のための施策となっていることを明確にするため、SDGsによる施策管理を実施してまいります。



【会津坂下町第六次振興計画】

【SDGs】17目標		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
会津坂下町第六次振興計画		貧困をなくそう	真実をばらに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を實現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
Ⅰ 暮らしを支えるまちづくり	第1項 子育て・教育環境の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○
	第2項 生涯学習・スポーツの推進				○	○												○
Ⅱ 安全・健康で住み続けられるまちづくり	第3項 防災・文化の振興		○		○													○
	第4項 健康づくり		○	○														○
Ⅲ 安全・健康で住み続けられるまちづくり	第5項 福祉の充実			○					○				○				○	○
	第6項 安全・安心なまちづくり			○		○							○				○	○
Ⅳ 活力と魅力あふれるまちづくり	第7項 健康寿命の形成						○						○	○				○
	第8項 生涯学習の推進	○		○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○
Ⅴ 活力と魅力あふれるまちづくり	第9項 森林業の振興		○						○	○			○					○
	第10項 農工業の振興		○						○	○			○					○
Ⅵ 活力と魅力あふれるまちづくり	第11項 観光・交流の促進		○	○				○		○								○
	第12項 地球環境のふかふかづくり			○	○			○						○		○		○
Ⅶ 一人ひとりが輝くまちづくり	第13項 防災が実現するまちづくり								○	○								○
	第14項 行政刷新の推進			○	○	○		○	○	○								○

【SDGsと会津坂下町第六次振興計画実施計画の関係図】

〒969-6592 福島県河沼郡会津坂下町字市中三番甲3662番地
【HP】 <https://www.town.aizubange.fukushima.jp/>
【TEL】 0242-84-1504
【MAIL】 seisaku@town.aizubange.fukushima.jp





会津若松市

主な活動場所：福島県会津若松市

主な取組① 「スマートシティ会津若松」の推進



会津若松市では、2015年から「スマートシティ会津若松」を掲げ、ICT（情報通信技術）や環境技術などを、健康や福祉、教育、防災、さらにはエネルギー、交通、環境といった生活を取り巻く様々な分野で活用し、将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会と、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めています。



【デジタル地域通貨】
「会津コイン」



【ICTオフィスビル】
「スマートシティAICT」



【AIオンデマンドバス】
「MyRideどこでもバス」

主な取組② 「脱炭素先行地域」の取組



会津若松市は、2023年、県内で初めて「脱炭素先行地域」（環境省）に選定されました。

鶴ヶ城エリア、会津アピオエリア、湊エリアの3つのエリアにおいて、省エネ機器や再エネ設備、EV等の導入を進めるとともに、デジタル技術を活用したエネルギーマネジメントを行いながら、地域で生み出される再エネ電力を安定的かつ安価に利用できる仕組みをつくり、2050年までのできるだけ早い時期に、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ会津若松」の実現を目指しています。



【脱炭素先行地域認定書授与式】



【ゼロカーボンシティ会津若松 ロゴマーク】

〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-46

【H P】 <https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>

【TEL】 0242-39-1201

【MAIL】 kikaku@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp（担当：企画調整課 二瓶）





愛twoランドみなみ

主な活動場所：福島県南会津町

主な取組①

里山林と有機農地をつなぐ循環社会



ー愛twoランドみなみーとは

「いのちへの愛」「ふるさとへの愛」のtwoが行動規範となり、運営に当たっての三つの約束ごとがあります。

- ① 自らの人間力を高めること
- ② 「とらわれない」「決めつけない」そして「公正と公開」を心構えに据える
- ③ 地域の共生力に心を向ける

本年は野生動物から農作物の食害を防ぐため管理の行き届かない森林（里山）に手を加え「シカ」や「イノシシ」などの身を隠せる場所を無くす森林の密度管理事業に取り組みながら、里山林の管理上不要な未利用材や枝・雑草などを有機資材として畑地に敷き込み、菌類（微生物）の働きによる土づくりの研究を進めています。

この際、家庭の食生活から出る生ゴミも投入しています。



実施場所：南会津町（田島水無地域他）
実施時期：令和5年 6月～11月
実施者：愛twoランドみなみ会員
実施規模：里山林1.3ha

主な取組②

科学的自然適合型農法の実証事業



現在、慣行的に行なわれている農業生産技術（化学肥料の投入や除草及び虫害防止のための農薬散布）は、土壌汚染や水環境に負荷を掛けるばかりでなく、世界的な「気候変動による災害」と無縁ではないとの認識を以て、これとは異なる（身近な有機資材と微生物の働きに着目した）技術「自然の循環に適合する科学的農法」を実証するための取組みです。

本事業は、新に二つのチャレンジを行なう事にしました。

- ① 研修など技術習得のための実習園場を設けます。
地域コミュニティが弱まりつつある集落の共生意識を高める目的も兼ねた「里山と農地の関係づくり」の場を提供します。
- ② 本会の活動拠点となる「ぷらっとフォーム」としての事務所を開設します。



実施場所：南会津町（田島・伊南・館岩）
実施時期：令和5年 6月～11月
実施者：愛twoランドみなみ会員ほか
実施規模：畑地0.43ha

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲3765-4

【TEL】080-1812-3541

【MAIL】itwoland538yh@yahoo.co.jp（担当：加藤）



アサヒグループジャパン株式会社

主な活動場所：福島県猪苗代町／福島県双葉郡

主な取組①

水源地の森保全活動



アサヒビール福島工場が中心となって実施している水系の豊かな水の水源地保全活動。水源地の森林で「枝打ち（枝払い）」や「下草刈り」を実施し、水源地保全に貢献すると同時に参加者（社員とご家族）が「水源や自然の循環」を考える機会にもなっています。



【開始前の作業説明】



【実際の作業風景】

主な取組②

福島県沿岸部社内ツアー



福島県にとって大きな課題のひとつである「沿岸部の復興」について、防災・コミュニティ再生の視点から社内ツアーを実施。

「沿岸部の現状を知り、企業として何ができるのか（どのように事業再開に繋げていけるか）」を社員自身が考える目的で現地訪問を企画しました。



【棚塩産業団地視察】



【請戸小震災遺構視察】



【フタバスーパーゼロミル視察】



【地元産農産物販売状況視察】

〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1-23-1

【H P】 <https://www.asahigroup-japan.co.jp/>

【TEL】 090-1405-3764

【MAIL】 ryusuke.kanazawa@asahi-youus.com（担当：金沢）





イオン東北株式会社 福島事業部

主な活動場所：福島県福島市、郡山市、白河市、いわき市、浪江町、双葉町

主な取組①

使い捨てプラスチックごみの削減に向け、 県・町のキャラクター入り買物カゴで環境啓発



東北6県の「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「イオンスーパーセンター」など163店舗で、県や町のマスコットキャラクターやロゴなどを配した「ご当地マイバスケット」を数量限定で販売します。

イオンでは、買物袋持参運動の一環として、マイバスケットの展開を全国のスーパーマーケットでは先駆けとなる2000年に開始しました。マイバスケットにはバイオマス配合プラスチックを使用しており、不要になった場合は購入時にお預かりした代金をお客さまに返金し、回収したカゴはリサイクルされます。



主な取組②

浪江町・双葉町内での水素で走る 「移動販売車」運行



今後、浪江町、双葉町で特定復興再生拠点区域の避難指示解除が段階的に見込まれるなか、買い物環境確保の取組のひとつとして、イオン浪江店を拠点とした水素で走る「移動販売車」の運行を開始しました。この取組は、日々のお買い物に不便を感じている皆さまのお買い物を支援すると同時に、地域の皆さまのコミュニケーションの場にもなると考えています。

※この「移動販売車」の運行は、2022年5月31日に締結しました「特定復興再生拠点区域等における水素燃料電池自動車を活用した移動販売事業に関する基本協定」による取り組みです。



〒960-0194 福島県福島市南矢野目西荒田50-17

【H P】 <https://aeontohoku.co.jp/>

【TEL】 022-264-5909

【MAIL】 t_naitou@aeontohoku.co.jp (担当：内藤)





石橋建設工業株式会社

主な活動場所：福島県二本松市

主な取組①

被害者支援



安達地区特別支援学校小中学部新築（建築）工事の施工を、石橋・菅野特定建設工事共同企業体で実施しています。

その工事現場事務所や現場詰所に寄付型の自動販売機を設置し、その売り上げの一部を被害者支援活動へ寄付する取り組みをしています。

また、相談窓口の連絡先を明示して、支援活動への応援もしています。



【工事現場に設置した寄付型自動販売機】

主な取組②

ぬり絵、らく描きコーナー



工事現場入口付近に、塗り絵と落書きの板を設けて、建設工事に対して理解と親しみを持っていただける場所を作りました。

近隣の園児や通学の生徒さんたちが自由に描きこみをしていました。



【工事現場入口付近に設けた「ぬりえコーナー、らくがきコーナー」】





猪苗代町立猪苗代中学校 総合文化部

主な活動場所：福島県猪苗代町内

主な取組① ヨシ回収→紙すき、草木染め



今年度は猪苗代湖のヨシ回収を行い、刈り取ったヨシの有効活用法として「紙すき」と「草木染め」に挑戦しました。1つの活動を「次の活動につなぐ」取り組みを通して、what（現状の把握）、why（活動の意義）、where（他地域での取組）、how（改善方法）など、多角的・多面的に事象を捉える力の向上に繋がっています。

【草木染め】



【ヨシを煮だして色素を抽出した液に手拭いを浸す様子】



【染め上がった手拭いを乾かし、ステンシルで模様をつけて完成】

【紙すき】



【煮汁と牛乳パックの紙を合わせて木枠に流し込んだ様子】



【木枠から外して乾燥させ、「総合文化部の印」を押して完成】

主な取組② あさか開成高校との交流



SDGsの取組で、県内でもトップクラスの実績を誇る「あさか開成高校 Multicultural Club」との交流会を年2回実施しました。幸いにも本校の卒業生が在籍しているため、和気あいあいとした雰囲気の中で、それぞれの活動を共有し合い、意見交換を行いました。互いの良さを認め合いながらも、工夫や改善点を指摘し合うことで、同世代間では得られない新たな視点や気づきを得ることができました。



【第1回交流会の様子】
～エコたわしの作り方～



【第2回交流会の様子】
～猪苗代湖の水草回収、ヒシの実ストラップづくり～



〒969-3133 福島県耶麻郡猪苗代町大字千代田字中島5-1

【H P】 <https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/cb/schoolhp/c-ina/>

【TEL】 0242-62-3312

【MAIL】 inawashiro-j@fcs.ed.jp（担当：佐治）





主な取組

地域公開講座「薬と食品の間にあるものー機能性表示食品の功罪；紅麹サプリを例としてー」



地域の方々をはじめ、誰でも参加が可能な「地域公開講座」を今年度も実施しました。

2024年3月22日、大手製薬会社が製造販売した紅麹を原料としたサプリメントが原因と疑われている健康被害が発覚し、腎障害により100人を超える関連死亡者が確認されています。今回は機能性を訴求できる食品カテゴリーの全体像を紹介するとともに、機能性を訴求する食品やサプリメントを、どの程度信用し、生活に活かすのかについて講演しました。



【講演「薬と食品の間にあるものー機能性表示食品の功罪；紅麹サプリを例としてー」】





いわき市

主な活動場所：福島県いわき市



主な取組① 藤原土曜学習（藤原SDGs）

いわき市では、こどもたちの成長を支え、より豊かな教育環境を提供するため、多様な観点から体系的・継続的な体験プログラム「土曜学習推進事業」を実施しており、身近な事例から「SDGs」とのつながりを学び、興味を深めました。

- ①水資源の重要性を考える
- ②パラスポーツを通じて社会の平等を学ぶ
- ③気象実験で災害と気候の関係を理解する
- ④埴輪や土偶の作成を通じて自然と共生を学ぶ
- ⑤常磐ものの活魚体験で海の豊かさを知る
- ⑥防災教室で持続可能なまちづくりを考える
- ⑦和太鼓のリズムからパートナーシップを学ぶ
- ⑧薬膳料理で自然と調和した食と健康を学ぶ
- ⑨リサイクル工作で持続可能な消費を考える



【水の大切さを学ぶ】



【気象予報士に学ぼう】

主な取組② 産学官連携による「いわきアカデミア」の取り組み



いわき市では、人口減少・少子高齢化が進む中、将来にわたりまちの活力を維持していくため、次代を担う人財の育成・人財還流に向け、産学官が一体となって教育プログラムを展開する「いわきアカデミア」に取り組んでいます。

主な取組みとして、市内の高校生を対象に、市内企業等を訪問・体験し、仕事への情熱や職業観などを聴く「いわき発見ゼミ」や、大学生を対象に、いわきで働くをテーマに自らの進路や生き方を考える「大学生地域実践ゼミ」などを行っています。



【いわき発見ゼミの様子】



【大学生地域実践ゼミの様子】

〒970-8686 福島県いわき市平字梅本21

【H P】 <https://www.city.iwaki.lg.jp/www/index.html>

【TEL】 0246-22-7410

【MAIL】 seisakukikaku@city.iwaki.lg.jp





いわき市中央卸売市場協会

主な活動場所：福島県いわき市

主な取組①

市場内一斉清掃



市場内の環境美化を図るために、年2回（6月・10月）にわたり、市場内一斉清掃を行っています。



【市場内一斉清掃の様子】

主な取組②

料理教室



場内事業者の協力を得て、新鮮な野菜と魚介類を利用して家庭料理を学んでいただく料理教室と生活に潤いを取り入れるフラワーアレンジメント教室を開催しています。



【料理教室の様子】



【フラワーアレンジメント教室の様子】



おおたま村づくり株式会社

主な活動場所：福島県大玉村

主な取組①

「エシカル消費」で持続可能な社会をつくろう



あだたらの里直売所では地元の野菜を販売し、地産地消につながっています。これは運送にかかる燃料を削減することになり環境に対して負荷を軽減することにつながります。また、規格外の野菜を販売していますが、これも無駄を省くことになります。

これら以外にもあだたらの里直売所では障がい者施設の商品を販売してきました。これは様々な立場の人々が社会の一員として参加・活躍できる社会につながり「エシカル消費」につながっています。

こうした取り組みを福島県内に広めるため、毎月12日を「エシカルの日」として啓発イベントを開催したり、啓発グッズの設置を通して情報発信に取り組んでいます。

※エシカル消費とは…地域の活性化や雇用などを含む、人・地域・環境に配慮した消費行動です。



【店内普及グッズ】



【イベントの様子】

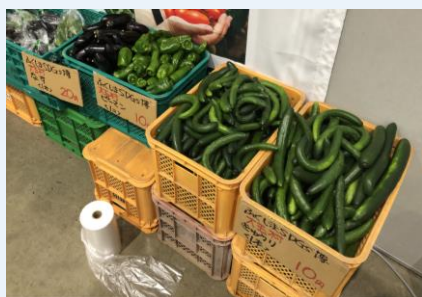


主な取組②

もったいない（規格外）野菜を食べよう



農家が作った野菜の中には農協やスーパーの流通に卸す際には決められた規格（大きさ、形）にしなければならず、規格外になってしまったものは廃棄されてしまいます。こうした味はおいしいのに捨てられてしまう「もったいない野菜」をあだたらの里直売所で販売することで農家の所得向上、生産者の意欲向上、新規就農につながることで持続可能な社会を目指しています。



【店頭に並ぶもったいない野菜】
（大きなきゅうりや曲がっているきゅうり）



【あだたらの里直売所にて
もったいない野菜を買い求める消費者】

〒969-1301 福島県安達郡大玉村大山字新田10-1

【H P】 <https://www.tif.ne.jp/fuku-gt/guide.html?id=162>

【TEL】 0243-24-2317

【MAIL】 murazukuri@dream.email.ne.jp（担当：矢吹）





一般社団法人オープンデータラボ

主な活動場所：福島県福島市、郡山市

主な取組①

自治体SDGsイベントにおける講演



これからSDGsにチャレンジしようとしている自治体において、SDGsの必要性や考え方、事例・効果などを、イベントのパネリストとして紹介、これからの取り組みに弾みをつける取り組みを実施しています。

<桑折町の例>

https://www.shinkin.co.jp/fshinkin/_news/contents/15186/0428_koori_sdgs.pdf



【桑折町SDGs推進町民会議の様子】

主な取組②

自治体におけるSDGs取組推進



地域企業がよりSDGsに取り組みやすい環境を構築するため、自治体に登録・認証制度を設ける支援を行っています（金融機関、保険会社などと協力）。

弊団体は以前より社会的な取り組みにより生じるインパクトの測定（社会的インパクトマネジメント）を得意としており、休眠預金の評価業務など、ステークホルダーに対して社会的価値を客観的に明らかにする取り組みを実施しています。

これらノウハウをもとに目標値を定め、自治体独自の企業認定を支援しています。

〒960-0116 福島県福島市宮代字一本木15-2

【H P】 <https://odl.or.jp/>

【TEL】 080-7012-8317

【MAIL】 h.nagai@odl.or.jp（担当：長井）





小名浜海陸運送株式会社

主な活動場所：福島県いわき市



主な取組①

社会貢献活動

- ・会社周辺の清掃活動を平日朝に実施しています。
- ・地域主催の交通安全運動や清掃活動（春・秋）へ参加しています。



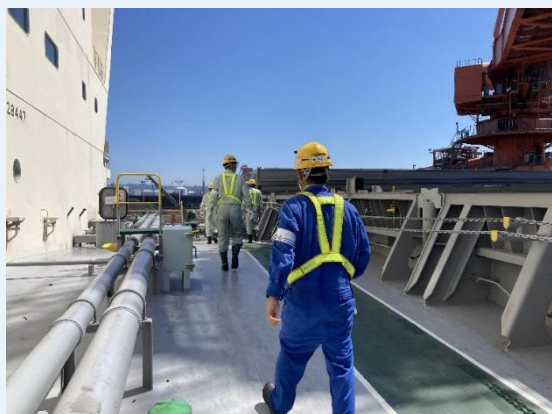
【ゴミ拾い活動の様子】

主な取組②

労働安全衛生



- ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいます。
- ・「安全衛生委員会」を設置し、定期的な安全パトロールを実施しています。
- ・作業中にアイスベストを使用し熱中症対策を実施しています。



【安全パトロールの様子】



【アイスベスト】





一般社団法人 CARNIVAL WORKS

主な活動場所：福島県福島市

主な取組①

anneau café (あのカフェ)



高校生や大学生が子どもたちの社会課題を提起し、共に考え、コーヒーを飲むことが子ども食堂等へのチャリティになる全員参加型のカフェプロジェクトです。1杯のコーヒーとチャリティを通して、社会課題を解決する仕組みを創出します。



【anneau cafe (あのカフェ) の様子】

主な取組②

無料塾FOUR'S STUDIO



ひとり親家庭を含め様々なご家庭を対象に、教育格差をなくし、楽しみながら学ぶことを目的とした子ども食堂型の無料塾を月1回開催しています。子どもたちと関わってくれるのは多くの高校生・大学生ボランティアスタッフです。また、ひとり親家庭や様々な背景を抱えたご家庭には、食材の直接支援やSNS等を用いた相談支援も随時行っています。



【高校生・大学生ボランティアスタッフによる指導】





ガールスカウト福島県連盟

主な活動場所：福島県内各地

主な取組①

明日へ繋ぐふうせんかずらの旅プロジェクト



2022年度より未来につながる活動として、福島に緑を育てるプロジェクトに取り組んでいます。ふうせんかずらは育てやすく蔓性の植物で、グリーンカーテンにもなり地球温暖化対策に繋がります。会員で成長を見守り、2023年には第1号の種を配布し、全国へと旅立っていました。2024年は第2号の種の採取と配布、そして活動に賛同して下さった他県からもプロジェクト協力の報告が届き活動の広がりを見せています。



【ふくしまSDGs未来博での活動の発表の様子】



【グリーンカーテンの様子】

主な取組②

「ジェンダー平等を実現しよう」達成にむけて



ガールスカウトでは少女と女性が置かれている現状を改善し、女性の可能性を伸ばすためのプログラムに取り組んでいます。

会員と内堀福島県知事とのジェンダーについてのパネルディスカッションやふくしまSDGs未来博で3年間ジェンダーについてのアンケートの実施、「女の子だから」という理由で学ぶ機会の少ない分野であるSTEAM教育分野の体験学習など、新しい世界に興味を持ち、自らの可能性を広げることができる活動を実施しています。



【パネルディスカッションの様子】



【STEAM教育への取り組み】



【ジェンダーアンケート調査とその結果】





葛尾創生電力株式会社

主な活動場所：福島県葛尾村

主な取組①

葛尾スマートコミュニティの構築・運営



葛尾村の中心部に太陽光発電設備と蓄電池、全長5kmの自営線による「葛尾村スマートコミュニティ」を構築し、運営しています。電力の地産地消で村内に経済循環を生み、災害時には電力自立によって村民の生活を守ります。



主な取組②

福島県産再エネ利活用拡大事業への参加



県内の再エネ発電所の電力を県内の需要家（事務所・工場等）に提供する事業に、小売電気事業者として参加し、地域内での再エネ流通による地域活性化に寄与しています。





金田建設株式会社

主な活動場所：福島県郡山市～福島県内全域

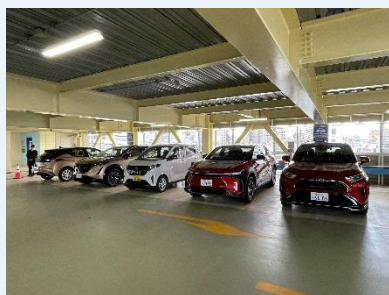
主な取組①

EV充電スタンド普及設置事業



弊社が郡山駅前で運営中の161パーキング（郡山市駅前二丁目12番5号）に、電気自動車用充電スタンドを県内最大数の17台設置し、2023年1月12日より運用を開始しました。

EVをはじめとするエコカーの普及による脱炭素社会の実現を目指すとともに、特に充電設備が少ない郡山駅前に設置することで、駅前でのショッピングや駅を利用した際に手軽に充電ができる環境を提供したいと考え、充電スタンドの設置に至りました。



電気自動車用（EV・PHEV）用 充電スタンド設置しました。



① **17台**（普通200V）
福島県内最大の設置台数

② **WeChargeアプリ**注②
WeChargeのアプリをダウンロード
車登録or料金プラン選択で利用可能

ご利用案内 ③

利用時間
……24時間
対応車種
……EV、PHEV車
充電ケーブル
……なし
ご利用者様自身で
ご準備ください
駐車料金
……必要です
通常料金が発生します

④ 青色が目印

場内の案内に従って4階まで、
4階の西側と北側に青いカラーが
充電スタンド設置場所になります。

⑤ SDGsに貢献



注① 4階12号に充電スタンド16台設置してありますが、充電設備同一棟車庫が共用のため、
他社利用車と共用している場合があります。また、充電設備同一棟車庫が共用のため、
また、駐車料金（入庫・上庫料金）は200円・1000円（税込）が適用されます。
注② WeChargeの登録が必要で利用可能ですが、登録もと確認ください。

161パーキング
郡山市駅前二丁目12-5
024-922-0382

161
PARKING

主な取組②

パートナーシップとの地域貢献活動



男子プロバスケットボール・B2リーグの「福島ファイヤーボンズ」を運営する福島スポーツエンターテインメント株式会社とSDGsパートナー契約を締結し、その活動の一環として、①郡山市内の高等学校へバスケットボールの寄贈およびプロのコーチや選手によるクリニック、②バスケットボールに取り組む生徒にプロ選手のプレーを間近で見る機会を提供するために郡山市内の中学校・高校へ福島ファイヤーボンズの試合観戦チケットの寄贈を実施しました。

子どもたちの笑顔をつくる取組を行うことで、地域を元気にする活動に努めています。

【実績】

- ① 2023年11月
郡山市内高校
- ② 2024年2・10月
郡山市内中学校



【寄贈したバスケットボール】



【クリニックの様子】

〒963-8852 福島県郡山市台新二丁目21番13号

【HP】 <https://www.kaneta-const.co.jp/>

【TEL】 024-922-3995

【MAIL】 takahashi@kaneta-const.co.jp（担当：高橋）





株式会社カネバン 福島工場

主な活動場所：福島県内、一部県外もあり

主な取組

様々な植物残渣や貝殻等を利用した ボタニカルトレーの製品化プラン



「福島県をバイオマスプラスチックの聖地にする」ためにご協力をお願い致します。
弊社では、植物由来や貝殻由来の有機物を用いることで独特な風合いが出る「トレー」を製作致しました。原料には福島県産のもみ殻から取り出したセルロースや杉・ヒノキの木粉、松川浦漁港のホッキやホタテやカキの貝殻を使用しています。植物由来の原料に貝殻パウダーを混合使用することで製品の強度と表面のツヤが向上することを実証し、世界で初めて海と陸の原料のハイブリッド材の使用を提案しました。トレーの表面にはオリジナルなメッセージを施し、食事を提供する側と食事を頂く側と一緒に環境問題について共有できます。学校給食用・公共施設食堂・道の駅やサービスエリア食堂など、その地域オリジナルな「トレー」を提供いたします。古くなった「トレー」は回収し、粉碎することで原料として再利用することで完全なリサイクルが可能です。
製品に付加価値を付け、皆さんが「欲しい」と思って頂ける「トレー」に致しました。

【バイオマスプラスチック業界の現状】

先進国では法律で100%石油由来のプラスチック製品は製造できません。しかし、日本においては法整備がないためにバイオマスプラスチックの製品化が進みません。「SDGs」や「持続可能な社会」など環境問題が提起され、バイオマスプラスチックについても大手企業を含め開発が進められています。しかしながら、製品開発が進まずビジネスになっておりません。このバイオマスプラスチックは植物由来成分や有機物を含むため、耐久性や耐熱性・強度などに心配があるため、工業部品の原料としては非常にハードルが高いです。



原料：もみ殻セルロース 55%+PP45%
特徴：金型に彫刻を施しメッセージを



原料：もみ殻セルロース 55%
特徴：シルク印刷でメッセージを



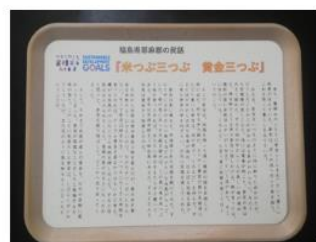
原料：木粉（ヒノキ） 55%
特徴：盆栽等の敷物として



原料：貝殻パウダー55%+PP45%
特徴：福祉施設の子もたちからの
メッセージをシールで貼る



原料：貝殻パウダー55%+PP45%
特徴：原料に着色にて重厚感を
鮮やかなデザインをシールで



原料：米と貝殻パウダー62.5%
特徴：有機物 62.5%の優れ物
福島県の民話をシールで

〒963-7827 福島県石川郡石川町新屋敷長土路48

【H P】 <https://www.kanaban.jp/>

【TEL】 0247-26-8092

【MAIL】 jinmizuno@nifty.com (担当：丸本)





カネパッケージ株式会社

主な活動場所：福島県白河市

主な取組①

マングローブの植林活動



会社の利益の一定部分を社会に還元し、水生生物のゆりかごであるマングローブ林の保護や地球温暖化対策などに役立てています。【2024年にマングローブ植林1400万本達成】

自動販売機を通してマングローブ植林活動参画企業を募集し、設置企業様から毎月缶ジュースの売上金の一部をマングローブ植林基金として寄付しています。



【実際の植林風景】



ジュース10本で
マングローブ1本
植林できます

【自動販売機イメージ】

主な取組②

梱包材削減のご提案



輸送時に使用している梱包材をプラスチック製の発泡材から段ボール材へ変更することで、CO2を約80%削減出来る提案を行っています。

◆ 最適な梱包によりCO2削減をご提案。

発泡材緩衝から段ボール緩衝へ



※ CO2排出量基準(参考資料)

EPE緩衝材 100g = 830g/CO2

ダンボール 1m³ = 181g/CO2

この材質変更で約80%
のCO2を削減しました。

〒961-0838 福島県白河市老久保山1-1 白河ワークス内K棟

【H P】 <https://www.kanepa.co.jp/>

【TEL】 0248-21-5590

【MAIL】 ichinose@kanepa.co.jp (担当：市瀬)





株式会社亀岡工務店

主な活動場所：福島県福島市、会津若松市、南会津郡

主な取組

古材の再利用による 主な取組 二酸化炭素排出量の削減



日本の伝統的な木造建築物である古民家。その場でリノベーションされて再度利活用されることが最も望ましいことであり、持続可能な循環型建築社会へ寄与します。

しかし、一方では、維持することが困難となり、やむを得ず解体されてしまったり、解体することもできず放置されてしまっているものもあります。

解体処分されれば、そこで使われていた多くの木材からはCO₂が発生してしまいます。

日本が世界に誇る伝統建築である古民家で使われていた、太い梁等、立派な木材を、後世に良い状態で残せるようにあらゆる手段を考えていきます。

例えば古材を海外に輸出し日本の文化とその国の文化を融合させ、新たな日本建築の普及を海外で展開します。

CO₂の削減は勿論ですが、それにかかわる若者の育成、世界各国の技術者とのパートナーシップで、日本の伝統文化を世界に普及させます。

福島の木材を使ったこの取り組みは、福島だからハードルは高いですが、福島だから必ず達成したいと考えております。

2024年には、フランスのパリ日本文化会館にて、木材のリユースと大工さんの育成に関するシンポジウムを開催。現地の方々と多くの意見交換をさせて頂きました。今後も更なる木材リユースによるCO₂の削減を進めてまいります。



【台湾に輸出されリユースされる福島の古材と木材】



日仏木造建築文化交流シンポジウム
～持続可能な木造建築と大工・職人の技術継承～



【台湾、フランスに広がる、福島の古材、木材の再利用を目指すパートナーシップ】





神田工業株式会社

主な活動場所：福島県鏡石町

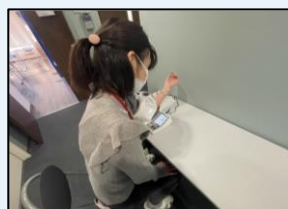


主な取組① 健康経営

自社でプロデュースした塩分ケアサプリメント「むくまんもん」の社内販売、一般販売で、血圧上昇によるリスクの軽減に向け活動を行っています。

その他、SNSやHPを活用し、減塩のためのレシピやむくみ解消・肩こり改善などを解消するストレッチ情報を発信することによって、社内での健康経営や、多くの方の健康な毎日のサポートを行っています。

家族や会社の同僚、友人をはじめ広く世界中の方が血圧リスクで悩むことが無いように活動を継続していきます。



主な取組② 就労支援施設の支援



従業員向けの福利厚生イベントとして、就労支援施設で製作いただいたお菓子を配布しました。毎年行っているクリスマスにお菓子を配布する機会に「作る側」も「食べる側」もみんながハッピーになれるものを、と企画し、姫路・福島・熊本の全拠点で就労支援施設様の手作りクッキーを配布しました。誰もが何気なく食べているお菓子も作り手がいること、1つのお菓子が就労支援につながることに気づく機会になればと取り組んでいます。





北塩原村

主な活動場所：福島県北塩原村

主な取組

裏磐梯・曲沢沼コカナダモ防除作業



北塩原村・裏磐梯湖沼群の水環境を維持するため、紅葉の名所である曲沢沼で、外来種の水草「コカナダモ」の除去作業を行っています。

この活動は裏磐梯エコツーリズム協会が猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会『湖未来基金』を活用し、協会会員をはじめ地元の方々や福島大学の学生など多くの皆さまの協力により実施しています。

今後も地域の環境保全に繋がる活動を続けていきます。





株式会社共和建商

主な活動場所：福島県白河市

主な取組①

KYOWA大感謝祭、見学会の開催



地域貢献・地域おこしのために、地元住民の方々や地元小学生を招待し、毎年開催しています。屋台や中古重機抽選会などの運営も全て社員で行っており、部門連携・社員成長の場として社員が自主的に取り組めるよう運営しています。

また、メーカー様の展示コーナーや中古重機抽選会も設けており、取引先も含めて携わる方すべてが幸せになれるよう取り組んでいます。地元小学生を対象とした見学会では、普段触れ合うことができない働く車の体験や質問コーナーなどの場を設け、子ども達に社会体験の機会を作っております。



【大間のまぐろ解体ショー】



【無料屋台コーナー】



【地元小学生
高所作業車体験】



【地元小学生会社見学】

主な取組②

地域生産者応援プロジェクト



地域貢献・地産地消の促進のため、雑貨販売部門の陽気屋をメインにSNSで発信、店舗販売のほか、全社的に消費促進に取り組んでいます。地域でもまだまだ知られていない、たくさんの良い商品や魅力的な人がいることをSNSやブログで発信することで広く知ってもらうきっかけ作りをしています。販売直後に即完売となるほどの人気商品も出てきており、出品者様からご好評をいただいております。この取組みを通し生産者様と消費者様のつながりを築く橋渡しと地域の良質な生産品の周知、ひいては継続した取組み運営にもつなげることができております。



【地元農家様の梨の販売】



【新米の販売】



【陽気屋の外観】





組木屋えんどう

主な活動場所：福島県いわき市

17 パートナリングで
目標を達成しよう



主な取組①

産学官連携による伝統芸能継承への貢献

- ・伝統技術や伝統芸能で培われたノウハウを活かし、環境にも配慮した商品の開発を進めています。
- ・文化財保護を資する技術の伝承と更新への寄与として、学校等で伝統技能を体感する授業を実施しています。

2019年 富岡支援学校中学部 11回

2022年 いわき支援学校高等部 7回

- ・特別支援の生徒さんに自立支援体験型学習を実施しています。

2021年 マイ箸づくり サブタイトル：自分で作った箸で給食を食べる



【伝統技法】



【伝統芸能で使うパチ】



【環境に配慮した新製品開発】



【生徒が手作したマイ箸】

主な取組②

安心安全な地域社会づくりと地域温暖化対策計画

- ・事業継続力強化計画と地域防災啓発に取り組んでいます。
- ・地域に根ざす事業所として、地域行政との連携による社会活動に協力しています。
- ・資源の再利用化による新たなエネルギー化や商品開発に取り組んでいます。
- ・小学校で行う授業（総合学習）でファシリテーターとして寄り添う授業を実施しています。



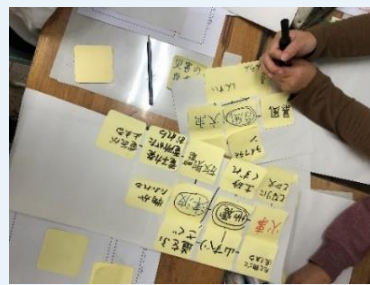
【行政との連携活動】



【新たなエネルギー化の取り組み】



【資源を再利用化した商品】



【小学校で行う総合学習の様子】

〒979-0333 福島県いわき市久之浜町久之浜字北畑田77番地

【H P】 <http://kagu-tategu.com/>

【TEL】 090-1931-8204

【MAIL】 kumikiya@kagu-tategu.com（担当：遠藤）





光建工業株式会社

主な活動場所：白河市 南湖森林公園

主な取組

みんなの里山を未来へ 「企業の森林づくり活動」実施



令和元年東日本台風の大雨被害により、一部が荒れ地となっている白河市・南湖森林公園内で福島県が主催する「企業の森林づくり活動」として、植林活動を開始しました。

福島県・白河市・光建工業株式会社の3団体間で「森林づくり協定書」を締結し、令和6年度から令和10年度までの5ヶ年計画にて、公園内の計1,574㎡の協定エリアに植林を行う予定です。

令和6年(初年度)は10月19日に光建工業の社員16名、光建会(協力会)の会員18名の計34名にて、384㎡の敷地に約30本の植林活動を行いました。



【初年度の植林実施の様様です】



【活動お知らせ看板を設置しました】

〒963-8811 福島県郡山市方八町二丁目13番9号

【H P】 <https://koken-kk.co.jp/>

【TEL】 024-941-3200

【MAIL】 sakurai@koken-kk.co.jp (担当：管理部 櫻井)





郡山医療生活協同組合

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

地域住民と専門職のパートナーシップによる ヘルスプロモーション（健康づくり）活動



福島県からの「健康寿命の延伸」を目指して、地域住民と専門職（医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、介護士など）がパートナーとなり、健康に関する学習や実践を各地で展開しています。特に高齢者のフレイル予防、減塩、生活習慣改善に力を入れたヘルスプロモーション活動をすすめています。

「SDGs 学習会」もおこなっており、地域の団体や学校（中学校・高校）から依頼を頂いています。



【理学療法士による運動指導】



【減塩活動】



【地域住民を対象とした「SDGs 学習会」の開催】

主な取組②

誰一人取り残さない「無料・低額診療事業」



生活保護基準には至らないまでも厳しい経済的事情にある方が、医療機関の受診を控えることがないよう、病院（桑野協立病院）独自の基準を設けて、該当者の医療費自己負担分を減免する事業。（社会福祉法に基づく）

2019年10月からスタートし、外来、入院における医療サービスの自己負担金を無料または低額で提供しています。本人からの申請が基本ですが、通院時の患者様の様子から職員が気づき、生活実態を伺って利用につながるケースもあります。

無料または低額で医療が受けられる
無料・低額診療事業のご紹介

郡山医療生活協同組合 桑野協立病院
☎024-932-5422

1. 対象となる方 ① 医療費の支払いが困難で、病院長が必要と判断した場合 ② 外傷、がん、人工的な治療、長期療養を必要とする方	2. 減免の範囲 ① 外来 医療費の自己負担額 ② 入院 医療費及び食事療養費の自己負担額	3. 減免の基準 ① 生活保護基準には該当しないが、世帯の収入が以下の基準で生活保護基準が適用される場合 ○1ヶ月の世帯収入が、おおよそ生活保護基準の120%以下は減免額 ○1ヶ月の世帯収入が、おおよそ生活保護基準の140%以下は減免額	4. 減免の期間 ① 公的給付の減額や生活が改善するまでの一定期間を要します。 ② 減免の期間、減免の割合、減免の回数、減免の上限は、減免の状況により異なります。
---	--	--	--

申請・利用するに注意

(1) 医療費が支払えない、医療費が滞ります。
(2) 申請を希望される場合は、相談員が面談し、申請書と記入します。申請書に記入して、記入を証明する書類を提出する必要があります。
(3) 12ヶ月以内に申請・不承認を通知します。承認された場合は、無料低額診療事業を開始します。

モデルケース(例)

① 高齢者単独世帯【世帯収入 75万円】
1ヶ月の世帯収入が、おおよそ生活保護基準の120%以下 → 半額減免
② 2人暮らし【世帯収入 100万円・世帯収入 120万円】
1ヶ月の世帯収入が、おおよそ生活保護基準の140%以下 → 半額減免
③ 2人暮らし【世帯収入 120万円・世帯収入 140万円】
1ヶ月の世帯収入が、おおよそ生活保護基準の140%以下 → 半額減免

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【桑野協立病院の玄関】

【無料・低額診療事業】

〒963-8034 福島県郡山市島二丁目9-18

【H P】 <http://www.koriyama-h-coop.or.jp/>

【TEL】 024-923-6212

【MAIL】 sei_onuki@koriyama-h-coop.or.jp（担当：小坂）





郡山ザベリオ学園中学校

主な活動場所：本学園、福島県内



主な取組①

ミライ探究成果発表会

生徒が企業連携型プログラムの探究成果をポスターセッション形式で学園の異学年生徒や保護者の皆様、市内の教育関係者に発表しました。発表会で自分たちの学びや社会課題を伝えることで、聴講者との新たな連携につなげると共に、様々なご意見をいただくことで、生徒も刺激を受けました。

【チラシ】

【活動のようす】



【発表会のようす】

主な取組②

異学年チームでの企業連携型プログラム（ミライ探究）



今年度より「ミライ探究」と称し、総合的な学習の時間において、企業・団体様と連携し、社会課題の解決に向けて中学1, 2年生の異学年チームで活動しています。

また、これまでに、高校生や連携企業・団体様との相談会や報告会、探究活動をするうえで必要な考え方を講師の先生をお招きし、講座を開いています。

このプログラムは、生徒が社会を少しでも変えることができたという経験や正解のない世の中を知ることを目指すとしています。



【制作物検証のための幼稚園訪問のようす】



【企業訪問での中間報告会のようす】





郡山市

主な活動場所：福島県こおりやま広域圏

主な取組①

こおりやまSDGsアワード

こおりやま広域圏においてSDGs達成に向け、優れた取組みを行う企業、学校、団体等を表彰する「こおりやまSDGsアワード」を2019年度から実施しています。

身近な地域でSDGsに取り組む企業や学校等を表彰することにより、SDGsの理解・普及を図るとともに、SDGs達成へ向けた取組みを活性化させていくことを目的としています。

また、受賞された企業等の取組を、ショート動画で発信！市ウェブサイトでも詳細な記事を掲載するなど、受賞された団体等の取組みを幅広くPRしています。



【SDGsアワード表彰式】



【企業の取組をInstagramで発信】



主な取組②

郡山市健康づくりキャンペーン

健康課題を解決し、健康寿命の延伸を図るため、SNSをはじめ様々なメディアによる健康情報の発信やイベント等を実施する「郡山市健康づくりキャンペーン」を2023年度から開催しています。

今年度は、こおりやま広域圏を対象に、ふくしま健民アプリこおりやま広域圏限定ミッション「6,000歩を5日間歩こう！」や、ふくしまFM×しゅふコミハッシュタグキャンペーン、「健康」に寄せる思いを伝えるウェブコンテンツ「Health Wave KORIYAMA」パネル展及び健康づくり体験イベントを展開しています。



【心と体の健康応援
ポータルサイト
「ココカラこおりやま！」】



【郡山市健康づくりキャンペーン
キャッチフレーズ『チョイケン！』】



【ふくしま健民アプリミッション
ハッシュタグキャンペーン】



【「Health Wave KORIYAMA」パネル展
健康づくり体験イベントの様子（イオンタウン郡山）】



〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23-7

【HP】<https://www.city.koriyama.lg.jp/>

【TEL】024-924-2021

【MAIL】seisaku-kaiatsu@city.koriyama.lg.jp（担当：河野）





株式会社Kokage

主な活動場所：福島県川内村

主な取組①

アップサイクル商品の開発を通じた若者による持続的な地域づくりプロジェクト



「お茶を通じて地域を知り、地域と関わる」をコンセプトに、規格外フルーツ、耕作放棄地で自ら栽培したハーブをブレンドしたフルーツハーブティーを製造販売することで、フードロス、耕作放棄地の問題の解決に貢献しています。

また、企画から製造販売に県内の大学生、高校生が関わることで、継続的に若者が地域に関わる仕組みを同時に創出しています。商品は 2022年11月5.6日 に新宿御苑にて開催された S D G s 関連のイベント「GTF グリーンチャレンジデー2022」にてお披露目し、県内では同年 11月19日 に観光物産館でのイベントでお披露目、その後随時 EC サイトや県内外のカフェ、セレクトショップでの販売を開始しました。

今年度は 13の生産者(福島市、伊達市、田村市、葛尾村、飯舘村)からフルーツを仕入れさせていただいています。田村市と川内村にて計 3 か所の耕作放棄地で行っているハーブ栽培も来年も継続していきます。活動については主に Instagram 及び note にて発信しており、生産の裏側を消費者が知り、より福島に興味を持つ仕掛けを行っています。



主な取組②

自然の魅力を詰め込む蒸溜酒事業



福島県川内村の中心部にある、かつて「薬店の倉庫」であった建物を改修し、クラフトジンなどの蒸溜酒をつくる蒸溜所を2024年11月に設立しました。「自然の魅力を詰め込む」、「五感の解放」をテーマに、この土地の様々な要素を掛け合わせながら、香りで福島と世界をつなぐ蒸溜酒づくりを目指します。

小さな蒸溜所ならではの利点を生かし、小ロットからのオーダーメイド製造も対応可能です。

規格外の余ってしまったフルーツや、ご家庭で栽培したハーブの香りを蒸溜酒に移し、オリジナルのブレンドを作成できますので、ご興味のある方はご連絡ください。



〒979-1201 福島県双葉郡川内村大字上川内字町分396-2

【H P】 <https://naturadistill.com/>

【TEL】 090-6152-0890

【MAIL】 info@naturadistill.com (担当：大島)





こまがた元気会

主な活動場所：福島県喜多方市



主な取組①

空き家の撤去と更地を利用したマルシェや集いの場づくり

現在は利用されていない空き倉庫を解体撤去してその場所に「こまがた元気マルシェ」（地域農産物の直売所）を作りました。現在では地域の人たちが井戸端会議を行う場にもなっています。その他に空き家をリフォームして出来た集いの場「駒形げんき交流館」（通称 よっか）も更なる集いの場として多くの地域住民が利用されています。



主な取組②

「こまがた元気マルシェ」破棄0（ゼロ）リユース運動



こまがた元気マルシェでは傷のついた野菜やサイズの小さな野菜、いわゆる規格外の野菜を無料提供、または安価販売しています。今後の活動としては空き家に取り残された食器や家具などを回収して必要な方に無料提供して再利用活用していく活動計画も進めています。



〒969-3504 福島県喜多方市塩川町中屋沢字竹屋丙30-1

【H P】 <https://komagata-genki.com>

【TEL】 090-6503-2862

【MAIL】 komagata.tsubaki@gmail.com（担当：椿）





株式会社こんの

主な活動場所：福島県内全域



主な取組

第4回 スポGOMI大会 in ふくしま に参加

スポGOMI大会in福島へ社員が集まり参加、街の美化活動に貢献しつつ、社内チームワークを深めます。



【スポごみ】

〒960-8032 福島県福島市陣場町2-20
【H P】<https://www.konno.gr.jp/>
【TEL】024-524-2345
【MAIL】m-sawano@konno.gr.jp（担当：澤野）





主な活動場所：福島県いわき市

主な取組① 学生服回収BOXの設置



○ 学生服回収BOXの設置を通じて

学生服回収BOXは、ご家庭で着られることのなくなった学生服を入れていただくためのBOXです。子供の貧困を支援するため、政府（内閣府）が主体でおこなっている「子供の未来応援国民運動」の一環として さくらや いわき店では、まだ着られる学生服の活用のため、学生服回収BOXの設置をおこなっております。

● 学生服回収BOXは、次のように運用されます。

- ・ ご協力いただく企業・店舗などに学生服回収BOXを設置
- ・ お子様の着なくなった学制服をBOXに入れていただきます
- ・ 回収した学制服をさくらや いわき店で査定します
- ・ 査定した額を「子供の未来応援基金」に寄付します
- ・ 回収された学生服は洗濯、補修等のメンテナンスを行い、新品に比べ10分の1～3分の1程度の価格でリユース品として当店で再販いたします



イオンモールいわき小名浜



イオンモールいわき小名浜・大東銀行 いわき管内に学生服回収BOXを設置頂いております

主な取組② ランドセルの再利用へ



○ ランドセルについて

当店へ集められたユーズドのランドセルは、必要とする子供たちへ無償で配布を行っております。

また、ユーズドのランドセルは、海外に送って発展途上国の子供たちへポリオワクチンを提供する協力もおこなっています。思い出の学生服を次の世代に『バトンタッチ』する架け橋に！また、学生服を通じ物を大切にする！（最後まで使い切る）このことを皆様に伝えていければと思っております。



卒業や転校、サイズが合わなくなった・・・など使わなくなった学生服や体操着も、まだ必要としている人がいます！

そんな学生服を『さくらや いわき店』にお持ち下さい！

来春入学を迎えるお子様へ必要としているお子様へ無償にてプレゼント



お知らせ ランドセル

にて、ワクチンを購入し外国の子供たちを救います

ランドセル8個につき、5人分のポリオワクチンが購入できます

ご協力お願い致します！

学生服リユースShop さくらや いわき店

※ランドセル8個につき、4000円相当のワクチンが購入できます。





合同会社シナプス

主な活動場所：福島県南会津町、只見町

主な取組①

SDGs／カーボンニュートラル カードゲーム研修

- 【町役場向け】 2020年 南会津町役場向け SDGs 研修
- 【社会人向け】 2021年度 只見町社会人教育プログラム 全4回
- 【学生向け】 2021年：只見町 中学生向け 出張授業 1校
- 【学生向け】 2022年、2023年：南会津町 中学生向け 出張授業 4校



【講座の実施風景】



**令和4年度 大人のための
SDGs 講座**
誰一人取り残されない社会をつくらう！
子どもたちが学び取り組んでいるSDGsについて楽しく学べます！
これからの社会で使える知識です。ぜひに参加ください。

講師 合同会社 Synapse 竹元 紳一郎 氏
会場 朝日興業センター 2階ホール
開催日時

- 第1回 7月7日(木) 18:00~20:00 座学と体験ゲーム
SDGsの基本理念を知ろう
- 第2回 8月4日(木) 18:00~20:00 座学
SDGsの取組事例を知ろう
- 第3回 10月6日(木) 18:00~21:00 ワークショップ
2030SDGsカードゲームを体験しよう
- 第4回 11月10日(木) 18:00~21:00 ワークショップ
SDGsのために行動しよう

※連続して参加していただくことを推奨しますが、単回の参加も可能です。

お問い合わせ・申込み 只見町教育委員会 **申込みが 6月24日**
電話 0241-82-5320 メール syougaku@town.tadami.lg.jp

【ESD,SDGs講座チラシ】

主な取組②

みんなの冷蔵庫 只見町の間伐材でネームタグ

- みんなの冷蔵庫
賞味期限切れ近い食品を譲り受け
貧困家庭へ譲渡しています。
(埼玉県草加市にて展開)
現在、企業や自治体と共同運営する候補を探しています。



【みんなの冷蔵庫】

- 福島県只見町の間伐材でつくる ネームプレート 事業
只見町の間伐材でつくる ネームプレートの販売・
デザインを弊社で作成しました。
製作を只見町の木工職人へ依頼し、只見町への
売上貢献と、森林保全事業への寄付をしています。



【SDGsネームタグ】





白河市

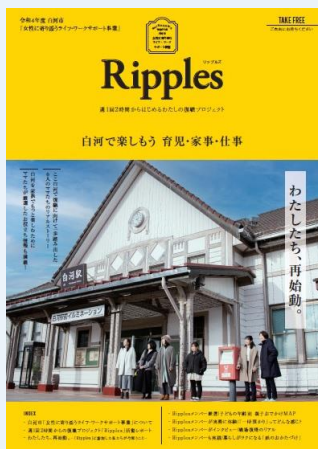
主な活動場所：福島県白河市

主な取組①

女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業



働きたいと考えているものの子育てによるブランクにより就職に不安がある女性などを対象に、就職または再就職への支援を図ることを目的として、働く上での心構えや基本スキルを学ぶ『セミナー・ワークショップ』、就労相談や求人のあっせん等を無料託児サービス付きで行う『個別相談会』、短時間勤務・ワークシェアリングを取り入れた就労支援モデルの仕組みづくりのための『実証実験』、女性の働き方に理解のある企業との交流を通じて雇用促進と多様な働き方を推進する『企業見学バスツアー』などを実施しています。



主な取組②

夏休み 親子で学ぶ環境学習教室



未来を担う子供たちに環境意識を高めてもらうため、企業から講師を招き、工作キットを組み立てながら、くらしの中のエネルギーや太陽光発電のしくみ、LEDなどについて学ぶ環境学習教室を開催しています。



〒961-8602 福島県白河市八幡小路7番地1

【H P】 <http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>

【TEL】 0248-22-1111

【MAIL】 kikaku@city.shirakawa.fukushima.jp (担当：前田)





セコムエンジニアリング株式会社

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

社内ゴミの分別・地域清掃活動の実施



社屋内ゴミ箱を分別可能な様に増設し、分別による焼却処分のごみの排出量の低減及びリサイクルによる自然環境への負担低減の実現を目指しています。

また、郡山市道路維持課主催の「アイラブロード事業活動」に参加し、地域の道路周辺清掃活動を積極的に実施しています。

社内外において環境へ配慮した活動取組みを行っています。



【社内のゴミ箱分別】



【アイラブロード事業活動】

主な取組②

社内ウォーキングイベント



社員のひとりひとりの健康意識の向上を目的に、ウォーキングイベントを開催しました。

今回は筋トレ・ランニング・なわとびも歩数加算可能な内容とし、上位3名へ高級健康グッズの賞品（健康グッズ）や目標歩数（8,000歩）達成者全員への景品の贈呈等、例年よりさらに社員が目標を持って楽しみながら参加できるイベントとしました。

ウォーキングイベント Ultra Walking! 2024

活動期間 2024.10.1 ▶ 10.31

ウォーキング サイクリング スイミング

ボーナス項目 歩数に加算が可能です！

筋トレ ランニング なわとび

目標歩数 **1日平均8,000歩**

目標歩数を達成した方全員に！
1,500円相当の健康グッズを贈呈！

さらに！
合計歩数上位3名へ
高級健康グッズを贈呈！

【ウォーキングイベントポスター】





只見町立只見中学校

主な活動場所：福島県只見町



主な取組①

新聞紙バッグ作製および普及活動

日本海側の海岸に漂着したプラスチック類のごみの多さから着想を得て、プラスチック製のレジ袋の使用量削減を目的として、新聞紙を原材料としたエコバッグの作製と普及活動を行っています。

全校生でエコバッグを作製し、協力していただいている町内企業の店舗などで新聞バッグを配付しています。これからもさまざまな場でNO.12のゴールを意識し、作製物および作製方法の普及を実践していきたいと思っています。



主な取組②

SDGs探究学習



今年度は、1学年「自然」、2学年「産業」、3学年「社会」というテーマで探究学習を行いました。「持続可能な社会をつくろう」という学校テーマのもと、自分たちが住む只見町をより発展させるためにはどうしたらよいか、住み続けることができる町にするにはどうしたらよいか、などについて探究活動を行いました。

また、3年生と2年生は只見町の課題を解決するために提言を考えました。3年生は町に提言する機会をいただき、探究活動の成果を発表することができました。



【町への提言】



【ESD公開授業】

〒968-0441 福島県南会津郡只見町大字黒谷字上野300

【HP】 http://kir523528.kir.jp/?page_id=44

【TEL】 0241-84-2022

【MAIL】 tadami-j@fcs.ed.jp (担当：佐藤)





伊達市

主な活動場所：福島県伊達市



主な取組

児童の農業体験と地元作物の美食について

農業体験を通じて、食や生態系、地域資源について学び、農業や環境等についての知識を深めることを目的としています。

児童が地元作物の収穫を体験し、出荷の様子を見学することで、農家から農業の楽しさや苦労を学んでいます。また、地元作物を給食で提供し、児童が美食することで、産地の魅力や理解を深め、食の大切さを学んでいます。



【きゅうりの収穫体験】

〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地
【H P】 <https://www.city.fukushima-date.lg.jp/>
【TEL】 024-575-1142
【MAIL】 seisaku@city.fukushima-date.lg.jp（担当：安藤）





玉川村

主な活動場所：福島県玉川村



主な取組①

SDGs女研フリマ

すがまプラザ交流センター（※１）において、女性から見たまちづくり研究会（※２）が主催となり、フリーマーケットを開催しました。

- （※１）旧須釜中学校を改修し、コワーキングスペースや交流スペース、行政センターの機能を有する「職」「住」「遊」「学」の拠点。
- （※２）子育て中の女性を中心とした多世代の女性メンバーにより、女性ならではの視点で日常の問題点や日頃の悩み、子育て支援等を話し合い、村に施策提言を行う会。



主な取組②

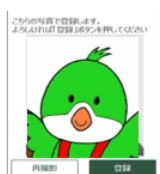
玉川中学校SDGs×デジタル



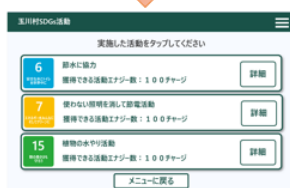
玉川中学校において、生徒が日々取り組んでいるSDGsに関する活動を「顔認証アプリ（※）」で記録し、SDGsの取組状況を可視化しました。

※個人情報と生体情報（顔）を結びつけることで、顔認証によりアプリにログインして、SDGsに関する活動の記録を個人ごとに記録し閲覧できる玉川村独自のアプリケーション。

①顔情報登録



②活動記録



③活動記録の確認



SDGs活動の
見える化

〒963-6392 福島県石川郡玉川村大字小高字中囃9

【H P】 <https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/>

【TEL】 0247-57-4628

【MAIL】 kikaku@vill.tamakawa.fukushima.jp（担当：齋藤）





田村市

主な活動場所：福島県田村市

12 つくる責任
つかう責任



主な取組①

ぼくの、わたしの、おさがり交換会

田村市復興応援隊が運営する地域交流スペースshipでは、子供服の交換を通して地域や学校の枠を超えた親同士のつながりが生まれ、子育てに関する地元情報や悩みをみんなでシェアするコミュニティ形成を目指し、おさがり交換会を開催しています。

親だけではなく、お子さんにとっても「物を大切にする」という気持ちを育む機会にもなっています。



【会場ロゴ】



【当日の様子】

主な取組②

ワクワクがとまらない 自然とチャレンジがいきるまち 田村市



田村市では、令和4年6月に市の最上位計画である第2次総合計画を策定しました。同計画は、市民参画によるまちづくり、SDGsにつながるまちづくり等の視点を持って策定しており、「ワクワクがとまらない 自然とチャレンジがいきるまち 田村市」の将来像のもと、市民と一緒にまちづくりを進めています。



【田村市総合計画】





特定非営利活動法人チームふくしま

主な活動場所：福島県福島市



主な取組①

福島ひまわり里親プロジェクト

ひまわりを活用した東日本大震災復興事業です。全国の人々が“里親”となってひまわりの種を育て、採れた種を福島へ送り、その種を福島県内の人々が育て、採れた種を福祉作業所で搾油後、バイオディーゼル燃料に精製し、福島市内を走る循環バスの燃料の一部等に活用します。

日本全国と福島の絆を深め、福祉作業所で働く障がい者の雇用創出や防災教育の推進、「ひまわり結婚式」や「ひまわり甲子園」等のイベント開催を通じて福島県の観光促進に繋げています。また、震災・原発事故についての伝承伝達および防災意識を高めることを目的に、「ひまわり防災検定」を実施しています。



【ひまわり結婚式で
挙式された新郎新婦】



【福祉作業所で働く
利用者の作業風景】



【全国の参加者より福島へ届いた
種から咲いたひまわり（田村市）】



【ひまわり防災検定
受験の様子】



【ホームページ】



【紹介動画】

主な取組②

お互いさまの街ふくしま



「お互いさまチケット」の普及を通じてお互いさまの思いと恩送りの輪を広める活動です。また、就学援助や児童扶養手当、奨学金の受給者を対象に、無料で食料品・日用品を提供する無人型子ども食堂「コミュニティブリッジひまわり」も一環として行っています。

「お互いさまチケット」とは、お客様がチケットを購入する事で、他のお客様が無料または低価格で食事やサービスを受けられる仕組みです。様々な業種で導入されており、利用者と購入者の区別がつきにくく、困窮世帯にも利用しやすくなっています。チケットを通じて子ども食堂や体験の貧困解消、寄付や恩送りの体験にもなり、設置企業・団体側は負担0でSDGsが気軽に表記できる団体や企業の価値の創造ができ、働く人の喜びや採用、職場内、顧客との関係性の質の向上につながります。寄付者はチケットが気になり来店動機やマーケティング、SNS投稿等広告にもつながり、寄付文化向上にも寄与する仕組みです。設置団体や企業、チケット利用者、寄付者、世間の四方よしのモデルとなっています。

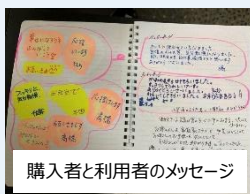
無人型子ども食堂「コミュニティブリッジひまわり」は出入口が電子ロック管理の為、アプリで利用時間に自由に出入りでき、人目を気にせず利用できます。寄付品の陳列や掃除を福祉作業所に仕事として依頼をし、雇用創出に繋げ、福祉作業所が仕事を通じてチェンジメーカーとして社会課題を解決するメンバーとして活躍しています。そして、福祉作業所のお仕事になるので無人食糧庫・子ども食堂の利用者の皆様が利用しやすい「福福連携モデル」としてソーシャルデザインの場所です。利用者が自立できるよう、就職情報や相談場所の情報も掲示・発信し、支援しています。持続可能なモデルとすべくマンスリーサポーターを募集させていただいています。

お互いさまの街ふくしまは会員制で、会員となった企業、店舗には研修動画や資料等を送らせていただき、導入後はSNS等で発信させていただきます。



導入の様子

〈HAPPY HAPPY CURRY様〉



購入者と利用者のメッセージ

〈美容室びいす様〉



【ホームページ】



【紹介動画】



室内の様子

【コミュニティブリッジひまわり】



利用者と寄付者
からのメッセージ



【ホームページ】



【紹介動画】

〒960-8055 福島県福島市野田町6-7-8 ツインコートB103
【HP】 <https://www.sunflower-fukushima.com/index.html>
【TEL】 024-563-7472
【MAIL】 info@sunflower-fukushima.com（担当：山田）



団体まとめサイト



理念 動画



主な取組① 天栄村SDGs宣言制度「てんえいSDGsパートナー」

SDGsを村全体で推進するため、SDGsの取り組みを行う村内の企業や団体、教育機関などを「SDGsパートナー」として認定し、認定証を交付しています。

パートナーの取り組み内容は、村広報誌やホームページで紹介し、取り組みのPRを図っています。



【認定証交付式の様子】



【村広報誌への掲載】

主な取組② 教えてSDGsチャレンジシート

SDGsに関する知識を深め、一人ひとりが自分事として取り組みを実践することを目的として、村生涯学習センター図書室にSDGs書籍コーナーと「教えてSDGsチャレンジシートポスト」を設置し、チャレンジを投稿した方に、村オリジナルSDGs缶バッジをプレゼントしています。



【SDGs書籍コーナー】



【チャレンジシートポスト】





主な活動場所：福島県福島市

主な取組

移住・転入者が暮らしやすい福島づくり



福島県に移住・転入した方（主に女性）の転入後の福島での暮らしをサポートしています。移住・転入者の悩みやニーズに対応し、

- 「1.仲間や地域とつながるキッカケづくり（座談会、まちあるきツアー等の開催）」
- 「2.自分らしく働くキッカケづくり（有料職業紹介、WEBライティング、在宅ワークの受注）」
- 「3.福島の暮らしの情報発信（独自WEBメディア「tenten fukushima」の運営）」
- 「4.情報発信と交流の場づくり（県産品ギフトショップ「ent」の運営）」
- 「5.コミュニティづくり（SNSコミュニティの管理運営）」
- 「6.移住・転入者個別のフォローアップ」

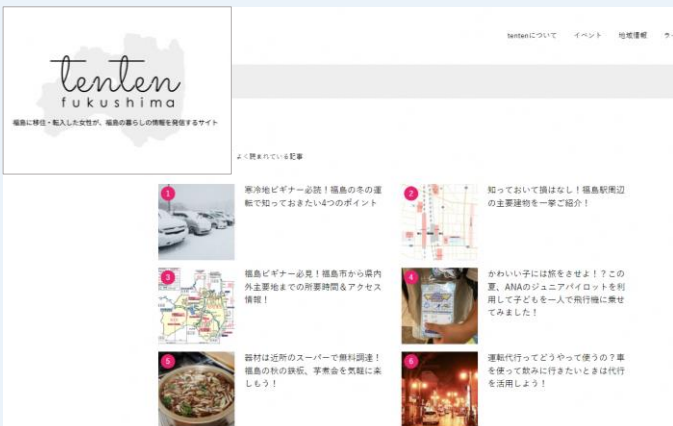
など転入者と地域が繋がるハブとなり、地域とwin-winになる事業に取り組んでいます。



【転入女性の座談会「tenten café」】



【暮らし目線のまち歩きツアー「まちとつながる旅」】



【独自WEBメディア「tenten fukushima」】



【県産品ギフトショップ「ent」】





東京海上日動火災保険株式会社 福島支店

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

ふくしまマルシェの開催@東京(本社ビル)



福島県の復興・創生を目的に、毎年東京エリアにてふくしまマルシェを開催しております。福島を代表する銘菓や日本酒、新鮮な果物や野菜等を販売されている県内事業者に出店いただき、東京にある弊社本社ビルにて開催しています。本マルシェを開催するにあたり、福島県様や東邦銀行様との連携協定を活かしながら企画・運営しております。当日は、内堀知事や佐藤頭取にも会場にお越しいたいただき、激励いただいているイベントです。出店いただいている事業者様からも感謝の声を頂戴しており、今後も継続して開催し、福島県の復興・創生に貢献して参ります！



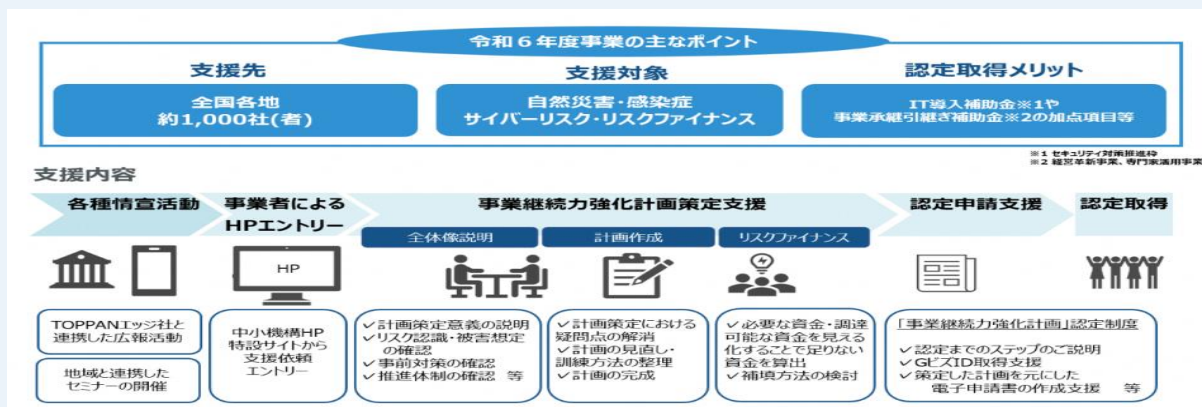
【ふくしまマルシェ2024会場の様子】

主な取組②

事業継続力強化計画及びBCPの策定支援



当社は企業が災害や予期せぬ事故にあった場合でも、持続的な事業運営ができるよう、全社として事業継続力強化計画やBCPの策定支援を行っております。現在では、地震・水災などの自然災害のみならず、サイバー攻撃といったリスクに対しても備えるよう計画を策定しております。その他にも、企業の皆様の経営課題(人材採用、労務管理、備蓄品対応等)のお役に立てるソリューション提供も実施しております！



(プレスリリースから引用)

〒963-8570 福島県郡山市長者1-7-20 郡山東京海上日動ビル6F

【H P】 <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

【TEL】 024-523-1161

【MAIL】 MAIL3338@tmnf.jp (担当：安上)





株式会社東邦銀行

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

「TOHOキッズcafeキャラバン」



「地域社会の輝く未来を担うこどもたち」への支援事業として、県内各地の「こども食堂」へキッチンカーに乗ったキャラバン隊が訪問し、こどもたちの金融リテラシー向上と健やかな成長を支援しております。

【金融・SDGs教室の開催】

金融・SDGs教室を開催して、こどもたちに社会に必要な金融の基礎的知識の普及に努める他、SDGsの啓蒙活動を実施しております。

【こども食堂の活動支援】

こどもたちの健やかな成長と明るい将来をコンセプトとしたオリジナルのキッチンカーで、こども食堂を訪問し、お弁当の配付を通じて、食育活動を応援しています。



【TOHOキッズcaféキャラバン】

主な取組②

「とうほうSDGsサポートサービス」

当行では、お客さまのSDGsへの取組みを後押しするため、2021年12月に「とうほうSDGsサポートサービス」を創設しました。

お客さまへのヒアリングを通して、SDGsへの取組状況や、現状の課題を洗い出し、解決策を銀行の担当者とお客さまが一緒になって考えております。

「SDGs宣言」により、お客さまの取組みを社外PRするとともに、本業を振り返り、持続的な成長に向けて取組むための、第一歩を後押しいたします。

2024年9月30日現在、福島県内を中心に474社からお申込をいただき、411社の宣言書を当行ホームページにリリースしております。

SDGs宣言書			
2022年8月8日			
〇〇〇〇株式会社			
項目	内容	達成状況	達成率
人権・労働	ダイバーシティ推進	多様な人材の活躍を促進するため、性別・年齢・国籍・障害の有無に関わらず、能力を最大限に発揮できる環境を整えています。	85%
環境	脱炭素・省エネ	脱炭素社会の実現に向け、CO2削減目標を設定し、削減に取り組んでいます。	70%
内部関係	情報セキュリティ	顧客情報の漏えい防止のため、セキュリティ対策を強化しています。	90%
製品・サービス	社会課題解決型製品・サービス	社会課題の解決に貢献する製品・サービスの開発に取り組んでいます。	60%
社会貢献	地域と連携	地域の課題解決に貢献するため、地域と連携しています。	75%

【とうほうSDGsサポートサービス】

〒960-8041 福島県福島市大町3-25

【HP】 <https://www.tohobank.co.jp/>

【TEL】 024-523-0972

【MAIL】 nobutsuna.kimura@tohobank.co.jp (担当：木村)





一般財団法人 とうほう地域総合研究所

主な活動場所：福島県内全域

17 パートナリングで
目標を達成しよう



主な取組①

機関誌「福島の進路」等による情報発信・情報共有

当研究所の機関誌「福島の進路」において、SDGsに関連する様々な記事を掲載し、読者の皆さまに役立つ情報や企業・団体の先進事例などを発信しています（冊子版・デジタル版いずれも無料）。

- ①「企業訪問」シリーズにおいて福島県で活躍されている企業やSDGsなどに取り組む企業・団体等の取材記事や寄稿を全国に向け発信しています。
- ②景気動向調査、人口推計、雇用動向、時事的なテーマでの自主研究レポートを公開しています。
- ③東邦銀行のサステナブルファイナンスの対象プロジェクトに対し第三者オピニオン（評価書）を作成し、SDGs推進に関する先進的な事例を紹介し意識熟成を図っています。



主な取組②

地域密着型リサーチ&コンサルティング

東邦銀行グループをはじめとした外部協力機関とも連携しながら、より専門的な知見に基づいた高度な経営課題の解決を支援するとともに、自治体や経営者の皆さまの立場に立った地域完結型のコンサルティング体制を構築しています。

コンサルティング業務においては、地域密着型のコンサルを行い幅広い業種に対応しています。また、当研究所のコンサルタントが「第4回日経統合報告書アワード」において昨年に引き続き一次審査を行い、日本を代表する上場企業が行っているサステナブル経営の評価に真摯に取り組みました。

リサーチ業務においては、地方公共団体のアンケート調査業務を担い、政策の立案の基礎資料となる報告書を作成しました。

- ・様々な分野において経験豊富な専門家のプラットフォームを当研究所内に形成。
- ・とうほう地域総合研究所のコンサルタントとして、自治体の皆さまや企業経営者の皆さまに寄り添ったコンサルティングを展開します。
- ・また、必要に応じて外部コンサルティング会社や学術機関・金融機関等とも連携し、常に最善のコンサルティングサービスを提供できるネットワークを構築しております。



【日経統合報告書アワードの概要】

主催：日本経済新聞社
参加者：統合報告書を作成している主に上場企業
審査対象：参加発行体の「統合報告書」
表彰：グランプリ・E賞・S賞・G賞・準グランプリ・優秀賞・新人賞

〒960-8041 福島県福島市大町4-4

【HP】<https://tohorc.or.jp>

【TEL】024-523-3171

【MAIL】sinro-tari@tohobank.co.jp（担当：嵐）





株式会社ナプロアース

主な活動場所：福島県伊達市

主な取組①

サーキュラーエコノミーの実現と世界標準化、リサイクル活動の認知活動



ナプロアースでは使用済み自動車を買取り「部品」や「素材」を生産・販売し「リユース」「リサイクル」する活動を進めています。生産した部品は業者向けの販売以外でも個人向け中古部品の市場開拓や、「リユース」「リサイクル」の啓もう活動をしています。リサイクルされた自動車は重量ベースで99%以上が再資源化され部品以外にも「フロン類」等を法に則って回収し、地球温暖化の阻止にも貢献しています。

ナプロアースではこれらのリサイクルに関する技術の世界標準化を目指し、普及していきます。

地域の小学生・中学生、地域住民の方々へリサイクル工場を知ってもらう活動として「工場見学」「リサイクルまつり」を開催し、のべ2,000人以上の方に参加していただきました。今後も地域の方々と交流しながら工場周辺の清掃活動、慈善活動を通じて新しい価値観を作り出しています。



主な取組②

災害に強いまちづくり支援



東日本大震災において自衛隊と協力し津波による被災車両を撤去しました。また2019年の台風19号による災害の際には水害による被災車両を自治体と協力し撤去のお手伝いを行ないました。

これらの実績により福島県伊達市、福島市と「災害時における車両等障害物除去に関する協定書」を締結しました。大規模災害が発生した際には自治体と協力し被災車両の搬送をお手伝いし速やかな復旧のお手伝いが可能となりました。

現在、他の市町村にも協定に関して働きかけを行っており、取り組みを広げております。





学校法人成田学園 幼保連携型 認定こども園 希望ヶ丘こども園

主な活動場所：福島県郡山市



主な取組①

食の大切さを知る

食材の栽培を通して野菜がどのように育つかを知り、作る事の大変さや命の存在を意識します。これらの経験をもとに食事の大切さを伝え、廃棄を少なくしようと心掛けています。



おきゅうしょく らんきんぐ

幼稚園会費: 8/28 ~ 9/1

クラス	1週間当たりの 一人当たりの献食量	順位
つばき	211g	1
きり	135g	6
うめ	100g	7
かえで	128g	5
さくら	111g	4
もも	111g	4
まつ	79g	8
たけ	37g	9

おきゅうしょく
たくさん
たべよう!!

主な取組②

ジェンダーレスを考える



おとこのこ・おんなのこ表記をせず、区別のない動物のカゴにしています。製作ではおとこのこもピンクを選んだり、おんなのこが青を選んだり好きな色はそれぞれです。





株式会社二嘉組

主な活動場所：福島県郡山市



主な取組①

働きがいのある、働きやすい職場環境づくり

全ての社員が健康で、自身の能力を十分に発揮できるよう、健康経営とスキルアップに取り組んでいます。

<健康経営>

- ・協会けんぽの出前講座で運動機会を創出し、健康増進
- ・郡山市保健師さんによる「ベジライフ推進事業」で食生活改善
- ・ベジチェック測定器、血管年齢測定器、血圧計で健康状態を測定し、数値の話題で職場内コミュニケーションアップ

<能力アップ>

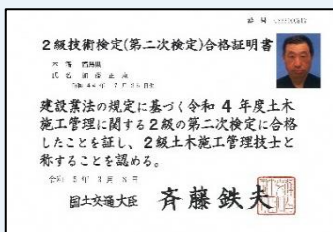
- ・資格や技能の取得を全面的に支援し、取得のための学習や講習会受講は就業時間内に実施可能、学びやすく、働きやすい環境づくり
- ・資格取得者には報奨金、手当の支給など、働きがいのある環境づくり



【出前講座の様子】



【ベジチェック測定中】



【国家試験合格証】



【資格取得で報奨金】

主な取組②

地域社会への貢献

・郡山市民の快適な環境づくりに貢献する「アイラブロード（道路環境美化）事業」で清掃奉仕活動に参加しています。



【「アイラブロード事業」清掃奉仕活動】

・郡山市の花いっぱいコンクールに、「二嘉組隣組会」として地域住民の方々と一緒に参加しています。



【花いっぱいコンクール】

・近隣の温泉施設周辺の側溝に堆砂した土砂の撤去清掃奉仕作業を実施し、蚊などの害虫発生を予防しています。



【側溝の土砂撤去奉仕作業】



【花いっぱいコンクール 花苗植え】

〒963-1633 福島県郡山市湖南町福良字家老9401番地

【H P】<https://www.nikagumi.com/>

【TEL】024-983-2152





西田精機株式会社

主な活動場所：福島県会津若松市、西会津町

主な取組①

GXの推進でCO2排出削減と循環型社会の実現を！



私たちは、SDGs宣言を掲げ、持続可能な社会の実現に向けて、GXを推進する取り組みを行っています。

空調の設定温度見直しや省エネタイプ機器の導入、ゴミ分別などの廃棄物3R管理等のISO14001に準拠した取組みを社員全員で取り組んでいます。2024年には会津若松工場の社屋屋根に約500枚の太陽光パネルを設置し、CO2の排出削減を進めています。これらの活動により、令和6年度第23回会津若松市環境大賞にて、「事業所部門環境賞」を頂きました。

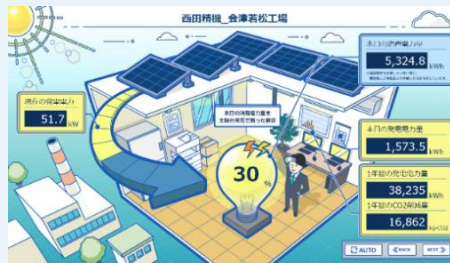
私たちはこれからも、地域と社会に貢献する環境への取り組みを推進し続けて参ります。



【太陽光パネル】



【ゴミ分別表示】



【太陽光発電の見える化】



【環境賞】

主な取組②

DXの推進で生産性向上と企業改革を！



私たちは、将来の成長と競争力強化のためにDXとIoTを積極的に導入し、企業改革と生産性向上に努めることを掲げ、世界的IT企業のSAP社のS/4を中心に福島県会津地域発のMES、サプライヤ連携ポータルを実装したERP(統合基幹業務システム)「CMEs」(Connected Manufacturing Enterprises)を導入しました。

導入による個別最適化から全体最適化への昇華により、基本予算や経営計画の策定と管理、生産状況の可視化、製品別原価の可視化、経営状況の可視化が出来、データによる会話が出来る環境を目指して改革を進めて参ります。



【生産工程におけるデータ入力の様子】



【生産状況や製品原価の見える化】

〒969-3464 福島県会津若松市河東町工業団地2-5

【H P】 <https://www.nishida-precision.com/>

【TEL】 0242-76-0123

【MAIL】 t.minaki@nishida-precision.co.jp (担当：皆木)





主な活動場所：福島県鏡石町

主な取組①

消灯確認の呼びかけ掲示



退出後の照明機器消し忘れ防止を目的に注意喚起の表示を作成しました。

共有スペース、休憩室、屋外エリア等の照明スイッチ付近に掲示を行っています。



【呼びかけ掲示】

主な取組②

温湿度計による室温管理



エアコンの適正使用を呼びかける際、設定温度だけの管理では部屋の広さや使用頻度により適切な温度管理が行えていませんでした。実際の室温が分かるよう、共有スペースおよび間接部門事務室に温湿度計を設置しました。室内温度の目安をあわせて表示することで、みんなが快適と感じられる温度設定になるよう呼びかけを行っています。





日本クリーンシステム株式会社

主な活動場所：福島県小野町

主な取組

ペットボトルキャップ支援（ワクチン寄付）



当社及び従業員の自宅から集めたキャップを回収業者に引き渡し、回収業者がキャップをリサイクル素材に換え、売却した利益がJCV（世界の子どもにワクチンを 日本委員会）に寄付されます。

当社は、集めたキャップを大阪本社へ送付し、大阪市内の回収業者へ引き渡しを行っています。



【キャップ回収箱】



【集めたペットボトルキャップ】



【ワクチンのチラシ】

〒963-3314 福島県田村郡小野町塩庭字向永志田3-67

【H P】<http://www.jcs-co.com/>

【TEL】0247-72-2900

【MAIL】yamanobe@jcs-co.com（担当：山辺）





日本たばこ産業株式会社 福島支社

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

Rethinkフォーラム



『そなえる・ふくしま』地域の防災について考えよう

『Rethink=視点を変えて考える』をキーワードに、パートナーの皆さまとともに、これまでにない視点や考え方を活かして課題解決に取り組む地域社会への貢献活動です。

Rethinkフォーラムは、地域住民、地域企業、自治体の方々とともに地域社会の課題解決に向けてディスカッションをする場です。

2024年は、「Rethink福島～『そなえる・ふくしま』地域の防災について考えよう～」をテーマに地域の皆さまをご招待のうえ、パネルディスカッションを行いました。

《大事な3つのキーワード》

1. 自分事 2. そなえる 3. マイ避難

《福島県防災アプリでそなえる》

- ・ハザードマップの確認
- ・避難所へのルート案内
- ・マイ避難シートの作成
- ・グループ安否
- ・備蓄リスト 等々



福島会場 開催日時 2024年7月21日（日）

パネルディスカッション

Rethink福島～『そなえる・ふくしま』地域の防災について考えよう～



カンニング竹山さん
(お笑い芸人)



内閣府副大臣
(福島県知事)



天野和彦さん
(福島大学国際地域文化学専任教授
/ (一社) 福島県防災センター
代表理事)

主な取組②

ひろえば街が好きになる運動



～“ひろう”という体験を通じて、“すてない”気持ちを育てたい。～

そんな願いから生まれた市民参加型清掃活動です。全国各地のお祭や催事で、地域社会の皆様と連携して、ゴミをひろう活動を2004年から行っています。

福島県内はもちろん全国各地で開催しております。落ちているゴミを拾うことで、マナー意識や街の環境美化について考えて頂くきっかけになることを願い活動しております。

《2024年活動場所》

福島わらじまつり
開催日: 8/2(金)～3(土)

会津まつり 藩公行列
開催日: 9/22(日)

郡山駅前広場
開催日: 12/15(日)



実績



参加人数
2,026,060人



集めたごみの重量
1011.8t



実施回数
2,892回



参加団体数
5,803団体

※2004年5月～2023年12月まで





野木沢地区自治協議会

主な活動場所：福島県石川町



主な取組①

交通事故啓発活動（3-6）

野木沢地区内交通死亡事故0件を目指しています。

1. 石川警察署の方による長寿会への交通安全指導教室。
2. 秋の交通安全運動週間にあわせ小学校での啓発活動を行っています。



【1.高齢者向け交通安全教室】



【2.交通安全母の会進行にて実施】

主な取組②

人権啓発活動（4-7）、防災訓練（11-b）



1. 小学校にて人権教室を実施しました。
2. 災害リスクの減らすための防災訓練を実施しました。



【1.5年生を対象とした人権啓発活動】



【2.ため池を利用して地域消防と住民の連携訓練】





ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 郡山工場

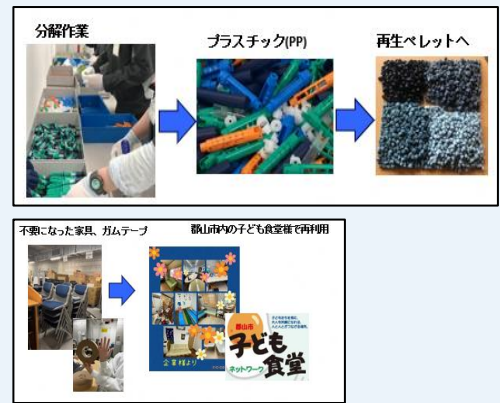
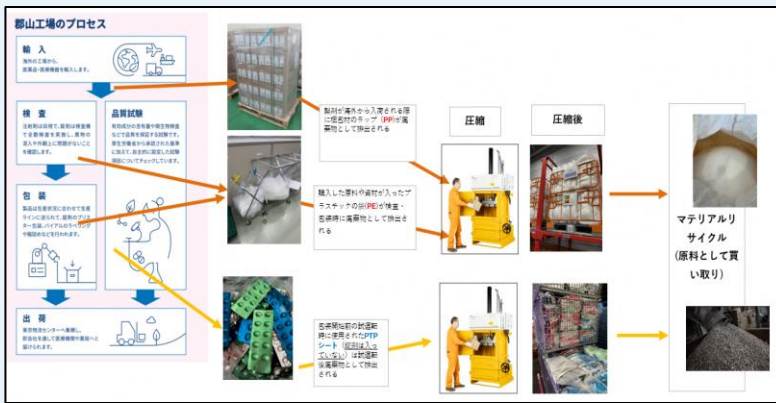
主な活動場所：福島県郡山市



主な取組①

廃棄物は宝物、マテリアルリサイクル、再利用化

工場から排出される産業廃棄物の量の削減を図り、そしてその処分方法を見直し、焼却している廃棄物はサーマルリサイクルへ、サーマルリサイクルはマテリアルリサイクルへ、マテリアルリサイクルは再利用への移行を進めています。廃棄PTPシートはアルミペレットに、廃棄プラはプラスチックペレットにマテリアルリサイクルが実現しています。海外からの輸送に使用し役目を終えた木製パレットは、再利用される企業様に無償提供、もしくは再生パレット製造販売を行われている企業様に有価物として売却し、木製パレットの再利用を行っています。不要になった家具等は郡山市内の子ども食堂様や企業様に再利用して頂きました。また従業員が工場内で使用したシューズは、ケミカルリサイクルをしています。



主な取組②

再生可能エネルギーの利用の促進



2000年代より省エネルギー活動に取り組み、事業活動によるCO2の排出量削減に取り組んでいます。2013年よりグリーン電力証書システムに参加し2016年に電力の再生可能エネルギー化100%を達成、続いてグリーン熱証書の購入契約を締結し、2018年に郡山工場におけるCO2排出量ゼロを実現しました。2020年7月にオンサイトPPA(*1)を活用し太陽光発電設備を導入、発電した電力を自家消費し環境負荷を低減してきましたが、本年はオンサイトPPAを廃止し、2025年4月よりフレキシブルソーラーパネルを設置し自家発電へ切り替え予定です。工場の屋上はソーラーパネルだけでなく、遮熱塗装を施工し工場への太陽熱を防ぐことでガスの使用料を大幅に削減しました。

太陽光発電でカバーしきれない部分の電力はトラッキング付きFIT非化石証書を組み合わせた電力を使用し、郡山工場のオペレーションで使用されるエネルギーの100%再エネルギーを継続しています。

(*1) オンサイトPPA：

発電事業者が、需要家の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気を需要家に供給する仕組み。(維持管理は需要家が行う場合もある)



〒963-0215 福島県郡山市待池台2-8

【HP】 <https://www.novonordisk.co.jp/about-novo-nordisk/kfa.html>

【TEL】 080-4062-5597

【MAIL】 knih@novonordisk.com (担当：二瓶)





野村證券株式会社 福島支店・郡山支店

主な活動場所：福島県内全域



主な取組①

『「野村まなぼう教室」サイコロゲームで輸入体験！』を実施

福島県民の金融リテラシーの向上に積極的に関わり、「貯蓄から投資を通じた資産形成へ」の流れの推進に貢献したいと考えており、小学生から大学生・教員、大人まで幅広い世代に対し金融・経済教育をご提供しております。

今年の夏休み期間には、小学校3年生～6年生とその保護者を対象に金融経済教育プログラム『「野村まなぼう教室」サイコロゲームで輸入体験！』を実施しました。サイコロを振るごとに為替レートが変動する中、実際に「輸入」する立場を体験して、「円高・円安」を学習するゲームを行いました。



【会場の様子】

主な取組②

「こどものみらい古本募金」への協力



「こどものみらい古本募金」は、内閣府等が支援する「子供の未来応援基金」に読み終えた本を寄付する仕組みであり、野村グループでは2018年から全国の支店に古本回収ボックスを設置して協力しています。

国内における貧困の連鎖の解消を目指し、「子供の未来応援基金」を通じて、子ども食堂や学習支援など、子どもたちに寄り添い活動している団体を応援しています。



【古本回収ボックス】

〒320-0026 栃木県宇都宮市馬場通り2-1-1

【H P】 <https://www.nomura.co.jp/branch/branch/fukushima.html>

【TEL】 024-505-6070

【MAIL】 atsuyo.tachikawa@nomura.com (担当：立川)





林興業株式会社

主な活動場所：福島県いわき市

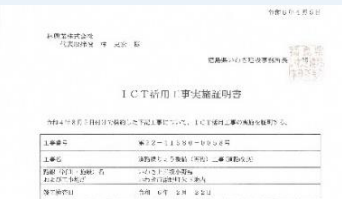
主な取組①

ICT施工を活用した施工管理



弊社ではICT機器・建機を活用した施工管理をおこなっております。施工した箇所を3Dレーザースキャナーで測量し、データを3Dソフトで読み込んで解析を行い、出来形・品質管理をしています。

今後もICT技術を活用した施工を積極的に導入し、安全・性能・環境性の向上を目指します。



【ICT活用工事実績証明書】



【3Dソフトによる点群データ解析と出来形品質の評価】



【ICT建機で活用した重機の確認】



【ドローンを活用した進捗数量の確認】

主な取組②

クリスマスイベントの実施



毎年12月に弊社では、クリスマスの時期に合わせてイルミネーションの設置・稼働を行っており、太陽光パネルの蓄電池と軽油稼働の発電機を併用しています。100%太陽光を目指しつつ、持続可能なイルミネーション（サステナブル・イルミネーション）を目指して稼働しております。近隣住民の方からも人気があり、「今年はいつから観れるのか？」といったお問い合わせもありました。

また、地域交流・コミュニケーションの取り組みとして、小学生の下校時間に合わせたお菓子のクリスマスプレゼントを配る行事も行っております。



【2024年12月イルミネーション全景】



【地域交流クリスマスプレゼント（お菓子）】



【太陽光パネル蓄電池を利用した電飾】

〒974-8261 福島県いわき市植田町根小屋65-1

【TEL】0246-63-6200

【MAIL】hayashi-ryutaro@hayashi-kogyo.co.jp（担当：林）



有限会社光自動車整備工場

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組

リサイクル部品の推進によるCO2の削減



リサイクル部品及びリビルト、再生部品の使用をお客様に説明しご利用を勧めています。



【リビルト部品及びリサイクルパーツの使用】

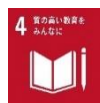
〒963-8851 福島県郡山市開成五丁目12-5
【H P】 <https://hikarijidousya.co.jp>
【TEL】024-923-3465
【MAIL】 hikari22@if-n.ne.jp（担当：日下部）





主な取組①

社内におけるSDGs取組の推進



①アンケートの実施

毎月、全社員向けにアンケートを実施しております。普段の生活から建設業に関わる事例まで幅広い内容のアンケートを行い、毎日の生活・仕事にもSDGsへの密接な関係があるという事への周知を通して浸透を図っています。また、アンケート結果をグラフ化し、実際に目で見て取り組みの成果を感じられるように工夫をしています。

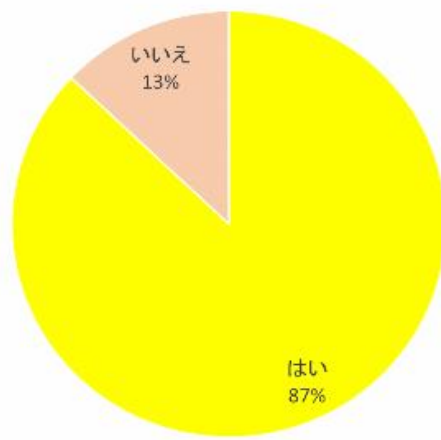
②SDGsバッジの配布

社員全員にSDGsバッジを配布し、SDGsへの取り組みの浸透を図っています。



【②SDGsバッジ】

SDGs取組チェックリスト 取組率)



【①アンケートの実施】
(実施結果をグラフにて表示)

主な取組②

猪苗代湖清掃ボランティアへの参加



2024年10月19日(土)に、24時間テレビ環境保護活動支援事業の一環として、猪苗代湖の清掃ボランティアに参加しました。作業前には、環境教室として猪苗代湖の水質について学んだあと、参加者全員で猪苗代湖周辺の清掃活動を行いました。(枯れた木などのゴミ拾い)

今後も、清掃活動等のイベントなどに積極的に参加していきたいと思ひます。



【①作業前の環境教室の様子】



【②ゴミ拾いの様子】





ふくしまSDGsネットワーク (FSN)

主な活動場所：福島県全域

主な取組①

SDGs出前講座



私たち、ふくしまSDGsネットワーク (FSN) (会員45名) は、SDGsを学び合い、教え合うことを目的に活動しています。(事務局：NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

- (1) 小中学校、地域団体、企業などに出かけて、SDGs出前講座の開催
- (2) 環境 (地球温暖化、ゴミ、水など) の出前講座の開催



【SDGs出前講座 (小学校)】



【環境 (ごみ) ワークショップ】

主な取組②

SDGsアクション



私たち、ふくしまSDGsネットワーク (FSN) は、事務局のSDGsアクションとして、次の活動をしました。

- ①ハギモシ杯水泳大会 (郡山しんきん開成山プール) で、日本代表選手だった萩原智子さんのご協力を得て、フードドライブを実施しました。(2025年1月12日開催)
(協力：こおりやま広域圏地球温暖化防止活動推進センター)
- ②SDGs専門相談会の実施 (12回/年)
(協力：郡山市民活動サポートセンター)
- ③グローバル・シチズンシップ (地球市民) に関するESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) 活動
- ④「未来のための協定」
(未来サミットで2024年9月22日採択) の学習会



【食品ロス削減】
(フードドライブ)



【SDGs専門相談会】





ふくしまSDGsプロジェクト 推進コンソーシアム

主な活動場所：福島県全域

17 パートナシップで
目標を達成しよう



主な取組①

ふくしまSDGsプロジェクト

2021年8月、ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム（日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県ユニセフ協会、福島大学、JAグループ福島、事務局・福島民報社）を立ち上げ、ふくしまSDGsプロジェクトを始動しました。

SDGsに対する認識を高め、さらなる行動の活性化を支援し、古里ふくしまで一つでも多くのゴールズを達成することを目標に活動中です。SDGs出前授業の開催をはじめ、SDGsポスター、SDGs未来新聞の募集・発表など、小・中・高校を中心にSDGs教育に主眼を置いた活動を展開中です。ポスターや未来新聞などは多数の作品が寄せられ、公式サイトにすべて掲載中です。また、年度末には1年間のプロジェクトの活動・新聞記事などを小冊子にまとめ、県内すべての市町村、小・中・高校、大学に無料配布しています。

SDGs関連ニュースを公式サイトに掲載しているほか、小中学校などを対象にSDGsの出前授業も積極的に展開しています。



【SDGsポスターと未来新聞の贈賞記事】



【SDGs関連ニュースの紹介】



【新聞紙上での
プロジェクト活動紹介】



【公式ホームページ】

主な取組②

SDGsへの産官学の取組を紹介する小冊子の 発行及び無料配布

年度末に県内の企業・団体、学校などのSDGs活動をまとめた小冊子を発行し県内の全小中学校、高校、大学に無料配布しています。

公式サイトに無料ダウンロードできるPDF版を掲載し、教育機関でも活用や閲覧を促しています。小冊子はA4版約30ページ、フルカラー。



〒960-8068 福島県福島市太田町13-17（事務局：福島民報社内）

【H P】 <https://sdgs.fukushima.jp/>

【TEL】 024-531-4162

【MAIL】 narita@fukushima-minpo.co.jp（担当：成田）





主な活動場所：福島県福島市ほか

主な取組①

地域マネジメント学科有志による 「きくらげを通して、福島環境、 農業、未来を考える」プロジェクト



ふくしま環境フェスタで、私たちは、2つのことを企画し、実践しました。

①プロジェクト2年目のことは、「糖尿病の死亡率（年齢調整別）は、福島県が全国1位であること、きくらげは糖尿病に効果があること、それなのに、なぜ福島県では生産額も消費額も多くないのか」という問題意識のもと、きくらげの販路について、西会津町のきくらげ生産者、同町の政策担当、福島市の大手スーパーからヒアリングを行い、その結果を4つのポスターにまとめ、展示しました。

②知名度がまだ高くないきくらげを知っていたため、菌床栽培中のきくらげに触れる機会をもち、また福島県西会津産のおいしいきくらげを販売しました。ワークショップ参加者からは、「きくらげが健康に良いことが分かった」、「きくらげはこういう風に育つのですか、菌床栽培を初めて知りました」等の反響がありました。



主な取組②

食物栄養学科によるサイエンスカフェ 「Nutrition Cafe 福島」の企画、実践



- ・食や栄養に関するさまざまな分野で活躍するゲストを迎え、地域の皆様と食べものや栄養についてお茶でも飲みながら気軽に語り合うことを目的として本イベントを企画しました。
- ・本イベントを通して、参加者の皆様に「食にまつわる科学や栄養」に対して興味を持っていただけるようなテーマを設定し、ゲストのトークや体験コーナー等を企画しています。
- ・本プロジェクトに取り組む学生が、将来、栄養士として多くの一般市民の健康維持に貢献できるよう、「食」や健康を取り巻く環境の問題を科学的に追究し、論理的に思考する能力をもつ人材を育成することも目指しています。





一般社団法人 福島県環境測定・放射能計測協会

主な活動場所：福島県全域



主な取組①

「食と放射能説明会～12市町村座談会～」の開催

福島県生活環境部消費生活課主催の講演会及び座談会になります。気になっていたけれど、なかなか聞くことができなかった食と放射能について、お料理を召し上がりながら専門の先生や生産者の方と交流する、ちょっとユニークな講演＆座談会です。開催地区やその周辺市町村に在住の方、お仕事で通われている方や他地区から移住してきた方、帰還を考えている方などに参加していただき、放射能に対する不安解消のお手伝いになればと思います。



【第1回食と放射能の説明会～12市町村座談会～の様子】

主な取組②

「猪苗代湖漂着水草回収除去事業」 ボランティアへの参加



非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議が主催する、猪苗代湖漂着水草回収のボランティア活動に毎年、当協会加盟の各社が参加しています。目指せ水質日本一を合言葉に、2024年も毎週のように参加して、猪苗代湖の環境保全に協力しました。



【2024年猪苗代湖漂着水草回収の様子】





公益財団法人 福島県国際交流協会

主な活動場所：福島県全域

主な取組

やさしい日本語普及促進事業



福島県から委託を受け、外国人とのコミュニケーションツールのひとつとして「やさしい日本語」の普及に努めています。普及のために「やさしい日本語セミナー」「日本人と外国人がともに学ぶ防災講座」等の各種講座を実施しています。



【防災講座の様子】



【「災害時に役立つもの」のグループワーク】



〒960-8103 福島県福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2階
【H P】 <https://www.worldvillage.org/>
【TEL】 024-524-1315
【MAIL】 yasaniichi-f@worldvillage.org（担当：福島）





主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会の運営



「再生可能エネルギー先駆けの地」を目指して、再生可能エネルギー関連産業のネットワーク構築をはじめ、人材育成、研究開発、事業化、販路拡大、海外展開を総合的・一体的に支援しています。

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会の運営を通じて企業間のネットワークを構築するとともに、各分科会（太陽光・風力・バイオマス・水素・エネルギーネットワーク・熱利用）ごとにセミナー・マッチング・現地視察を開催して情報共有や再エネ分野への新規参入を図ります。



【バイオマス分科会現地視察】



【水素分科会セミナー】

主な取組②

事業化プロジェクトの創出



再エネ研究会の会員企業を構成メンバーとする、新技術・新製品の開発や新たなビジネスモデル等のプロジェクトを推進する事業化ワーキンググループを設置し、集中的なコーディネートにより事業化プロジェクトの創出を図ります。

現在、5つのワーキンググループの活動に対して、各企業の要請に応じた支援を行っています。



【チームやぶき 水素関連産業新規参入WG】
（令和4年5月31日設立）



【サステナブル・ソーラーふくしま】
（令和4年8月31日設立）





公益財団法人 福島県障がい者スポーツ協会

主な活動場所：福島県福島市

主な取組①

スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト (パラスポーツ出前講座)



県内の学校や総合型地域スポーツクラブ、地域公民館、福祉事業所、地元企業、地域団体等特定の対象を絞らず、全ての団体からの要望に応じて、ボッチャ、車いすバスケットボールなど様々な競技の体験教室や講演からなる出前講座を実施しています。

実施にあたっては、東京2020パラリンピックボッチャ競技日本代表監督の村上光輝氏（福島市出身）を事業全体のコーディネーターとして、ボッチャを始めとした各種競技の講師として活動いただくほか、競技に応じて県内ゆかりのアスリートや関係者等を講師に迎えながら行います。

（例）豊島英氏（男子車いすバスケット元日本代表）

取組を通じたパラスポーツの魅力発信をきっかけに、誰もがいきいきと暮らしていける共生社会の実現を目指します。



【出前講座の様子】

主な取組②

スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト (パラスポーツ用具等貸出)



パラスポーツをより多くの方に身近な場所で触れてもらえるよう、ボッチャ競技セット・競技用車いす・タンデム自転車等を始め競技用具の貸出を行っています。【対象：個人・団体誰でも】

障がいがある方がスポーツを始めるきっかけとなるよう、個人の障がい特性や希望に応じた用具の貸出を行うほか、障がいがない方にもより深く体験してもらうため、上記出前講座の実施と合わせた用具の貸出を行います。また、各種イベント等において主催者の要望に応じて競技用具を貸し出します。

（用具貸出のみならず、ブース運営等も対応可です。）



【競技用車いす】



【ボッチャ競技セット】



【タンデム自転車】





福島県商工会女性部連合会

主な活動場所：福島県福島市

12 つくる責任
つかう責任



主な取組

レジ袋削減「エコバッグ作成」

ごみの削減や、それに伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの削減、レジ袋の原料となる原油の節約（資源保護）などを目的に、掲示期間終了したポスターやカレンダーを利用したエコバッグ作成を推進しております。

福島県商工会女性部連合会役員や各商工会女性部長が講師となり、女性部員や地域の方へ作り方講習会を開催したり、YouTube で作り方の配信を行い広く周知しています。

作成したエコバッグは、レジ袋の代わりに各自の店舗でご希望のお客様へ商品を入れてお渡しし、大変好評を得ております。



【エコバッグ作成活動の周知】



【エコバッグ講習会風景】



【エコバッグ講習会風景】



【完成エコバッグ】



【完成エコバッグ】



【完成エコバッグ】





公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会

主な活動場所：福島県内全域



主な取組①

持続可能な森林経営への支援

市町村が進める森林整備・林業振興に関して、森林の現地調査等を踏まえ、その方向性や具体的方策を提言しています。また、皆伐再造林の推進に向けて、現地実証の結果を踏まえた林業関係者向けのセミナーを開催しています。



【整備された森林】



【森林整備により伐採された木材】

主な取組②

緑化の推進



①緑の少年団大会

①県内の緑の少年団が一堂に集まり、これまでの緑化活動の実績の発表や交流活動を通して相互に友情と連帯を深め、豊かな人間性と奉仕の精神を培うとともに、緑を愛し、守り、育てる心を養うことを目的に緑の少年団大会を開催しています。



【活動発表】



【ツリークライミング】



【丸太切り】



【木工クラフト】

②学校花壇やプランターに花苗植え

②緑の募金を活用して助成金を交付し、県内の学校における緑化活動を促進しています。



〒960-8043 福島県福島市中町5-18 福島県林業会館内

【H P】<https://www.fukurin-net.jp/>

【TEL】024-573-0235

【MAIL】nagai-re@fukurin.jp (担当：永井)





公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター

主な活動場所：福島県二本松市

主な取組①

未来館フェスティバルの実施



未来館フェスティバルは、男女共同参画社会を推進するための活動への県民の皆様の主体的な参画を促進するとともに、男女共同参画社会を目指す団体・個人等の活動・取組発表の機会や県民相互の交流及びネットワーク形成を目的に開催しています。

6年度のシンボルイベントは、清田隆之さん（桃山商事）をお招きし、「それは恋愛のいざこざ？それともジェンダーの呪縛？～恋バナからひもとくジェンダー入門～」をテーマにお話いただきました。



【シンボルイベント】



【未来館カフェ（交流会）】



【県民参加企画イベント】

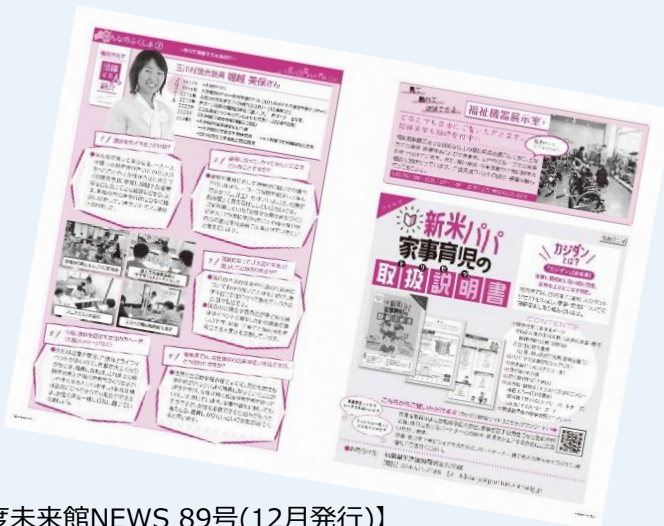
主な取組②

広報誌未来館NEWSの発行



当センター広報紙「未来館NEWS」は、センターの事業の紹介をはじめ、県民の皆様が男女共同参画について理解が深められるよう、身近に感じるテーマを選び、分かりやすい紙面となるよう努めています。

県内外の関係機関への送付、当センターホームページ、SNS等にも掲載し、たくさんの方が手軽に目にするこのできるよう発信しています。



【令和6年度未来館NEWS 89号(12月発行)】

〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1

【H P】 <https://www.f-miraikan.or.jp/>

【TEL】 0243-23-8303

【MAIL】 mirai@f-miraikan.or.jp（担当：森）





福島県ユニセフ協会

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

出前授業



「SDGs(持続可能な開発目標)」を始め、世界の子どもの現状、「子どもの権利条約」などユニセフと関連のあるテーマについて、講師派遣やオンライン授業に対応いたします。
総合的な学習の時間、児童会・生徒会の特別活動、PTAの講演会、文化祭などのイベントにあわせて講演会やオンライン授業の企画を進めています。



【小学校での出前授業】



【幼稚園での出前授業】

主な取組②



県協会ブースでは「SDGsルーレット」や日本ユニセフ協会「親子で学べるSDGs(持続可能な開発目標) サイトSDGs CLUB(クラブ)」の動画を視聴いただいたりしました。

また、県協会が支援する「ルワンダの教育を考える会」が、ルワンダのグッズやコーヒー・紅茶の試飲販売を行いました。

県協会も構成団体のひとつとなっている「ふくしまSDGsプロジェクト」で「SDGs未来新聞&SDGsポスター」の募集を行っていることから、「福島県ユニセフ協会賞」を設定していただき、取り組みました。



【ブースに立ち寄った方がギター演奏披露】



【SDGsクイズ】





福島県立あさか開成高等学校

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

WITH（一緒に）♥Enjoy♥Take Actionを合言葉！
『ふくしまをエシカルな県にしよう！』



地球的課題であるカーボンニュートラル実現のため、課題を「自分事」として考え、行動しています。毎月17日(いいなの日)前後を「SDGs Day」として、一人ひとりが具体的に取組むことができる行動を呼びかけたり、各委員会で行っているSDGs活動について、「SDGsアクション宣言」をしたりすることで学校全体で取り組んでいます。環境学習で福島県はごみ排出量が全国ワースト2位と知り、サーキュラーエコノミーの重要性も痛感しました。いわき市の「オーガニックコットン圃場」での畑作業(除草・支柱立て・収穫)と「古着倉庫」での仕分け作業を手伝っています。そして、自分たちに何ができるか考え、学校でも「エシカル消費啓発活動」「子ども服回収」「オーガニックコットン栽培」「ごみ減量のためのポスターや動画」「SDGs新聞・ポスター」「再利用型封筒のデザイン・制作」「寄付つきクッキー」の販売も行っています。みんなにやさしいエシカル活動が評価され令和6年度消費者表彰・内閣府特命担当大臣賞表彰を受賞しました。



【オーガニックコットン収穫inいわき】
SDGs活動をリスペクト



【「ファッションと環境問題」
サーキュラーエコノミーを学ぶ】



『マイバッグを使おう♥これもエシカル』



【ふくしまエシカルクッキー2024】
「浜・中・会津」の魅力とおいしさを発信!!

主な取組②

WITH（一緒に）♥社会と協働するローカルSDGs実践
福島ならではの『山の学校』・『水環境保全活動』プロジェクト



『山の学校』ではNPO団体（障がい者就労支援事業所）と環境研究者、さらに企業や地域の方々と高校生が一緒に、「よりよい社会」について学んでいます。「山の農園」や「コミュタン福島」を会場に、フィールドワークや講義により、里山や森林保全、気候変動などについて学び、「環境」・「平和」や「働くこと」についてのグループディスカッションから対話的に学びを深めています。

「時々先生・時々生徒」をコンセプトに高校生が「防災・減災」についての授業を行い、震災の記憶と教訓を発信しています。『猪苗代湖水環境保全活動』では多様な人との協働により、福島県の宝である「猪苗代湖」の課題を解決していく重要性、地域社会づくりに参画する必要性を実感し、猪苗代湖を守る活動・魅力を伝える普及啓発活動をしています。今年度はこの活動が評価され、ボランティア・スピリット・アワード・コミュニティ賞、東北・水すまし賞を受賞しました。持続可能で豊かなふくしまの実現に向けて、私たち高校生と一緒に活動しましょう! これからも様々な主体との協働の中で、新しい価値を創造していきます。



【「山の学校」高校生が先生
福島の今をみんなで学びます】



【「山の学校」フィールドワーク
災害時に備える水の浄化実験】



【「猪苗代湖水環境保全活動」
漂着水草回収】



【猪苗代湖をマモルンジャー】

〒963-8018 福島県郡山市桃見台15-1
【H P】 <https://asakakaisei-h.fcs.ed.jp/>
【TEL】 024-932-1714
【MAIL】 asakakaisei-h@fcs.ed.jp (担当：国際部)





福島コンピューターシステム株式会社

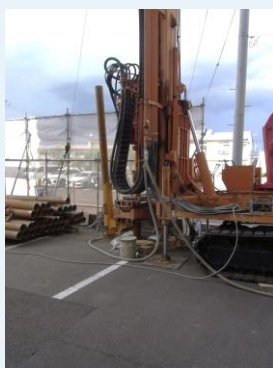
主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

地中熱利用システムを導入



1. 社員が通行する区間に、地中熱を利用した融雪システムを導入（2019年5月）
 - ・人手による除雪の負担が軽減につながりました。
 - ・転倒リスクが無くなり、社員が安全に通行できるようになりました。
 - ・電力使用量が少ない。
2. 地中熱を利用した冷暖房システムを導入（2025年1月）
 - ・太陽光発電は重量制限で設置が難しく、打開策を模索、「空」がダメなら「地下」を活用しようと発想を転換。地中熱を利用した冷暖房システムを導入しました。
（当社の参加）・地質調査孔を利用した熱伝導率測定システムを開発・運用。
・地中熱システムの稼働状況を「見える化」システム構築。



【地中掘削工事の様子】



地中熱利用システムで
融雪された社員通路

除雪していない
路面状況

【融雪システム】

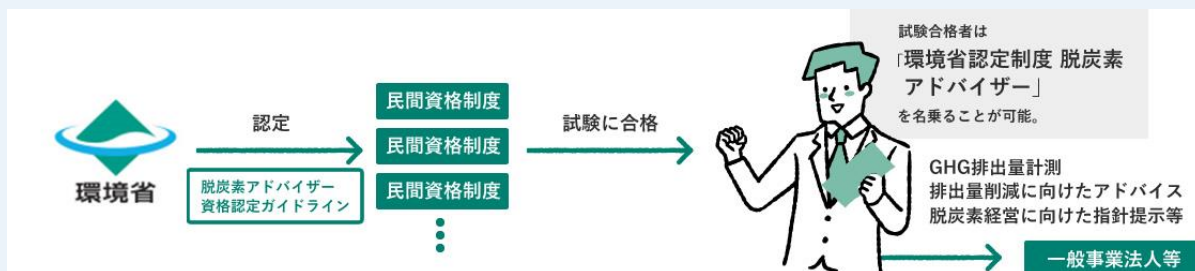
主な取組②

GX人材の育成



ESG経営の推進を通じて持続可能な社会の実現を目指し、その一環としてGX（グリーントランスフォーメーション）の取り組みを強化しています。

- ・全社員が「GX講座」を受講し、会社全体の環境スキル向上を図っています。
- ・環境省認定制度「脱炭素アドバイザー」の資格取得を推進し、GX検定の資格保有者を増やすことで、専門的な知識を持つ人材を育成しています。



出典：環境省「脱炭素アドバイザー 資格の認定制度」





福島市子ども食堂NET

主な活動場所：福島県福島市

主な取組①

子ども食堂の運営支援



福島市の子ども食堂において、様々な課題解決や人材育成を実施し、ネットワークの強化を行うことで、横のつながりで子ども食堂を支え、様々な支援をつなげる仕組みを構築し、持続可能な子ども食堂を生み出していきます。



主な取組②

フードドライブ



ご家庭で余っている食品を持ち寄って必要としている人に届けるフードドライブでは、集まった食品をネットワークに加盟している子ども食堂を中心とした加盟団体にお届けしています。企業や大学の協力もあり、多くの団体と連携しながらフードロス削減、子ども支援に寄与することができました。



〒960-8021 福島県福島市霞町9-18

【H P】 <https://fukushimaibasyo.beans-fukushima.or.jp/network/>

【TEL】 080-4184-9438

【MAIL】 d-etou@beans-fukushima.or.jp (担当：江藤)





株式会社福島タネセンター

主な活動場所：福島県須賀川市

主な取組①

スマート農業技術の確立による 生産性の大幅向上と農業の魅力発信



- ・IT・DXを使いながら、通常ではできない高生産性を達成させます。
- ・マニュアル化が容易で、新規参入者や異業種参入でも農業で収益性を十分確立できます。
- ・できる限り不確定要素を排除することにより、安定した収益性を確保できます。
- ・地域経済において、農業を発展産業にできます。
- ・再生可能エネルギーだけで独立した生産基盤を作れます。
- ・ロボット・自動化の開発



主な取組②

上記技術を利用することにより、 農業事業をソーシャルビジネス化



- ・若いお母さんや、障害者、社会的弱者などの雇用機会を作ることができます。
- ・研修制度を利用しながら、地域の農業技術の発展につながられます。
- ・林業との取組（コラボ）事業を推進します。



〒962-0061 福島県須賀川市北山寺町128番地
【H P】 <https://f-seed-lab.com/>
【TEL】 0248-72-3145
【MAIL】 k-hashimoto@f-seed.co.jp（担当：橋本）





福島防水株式会社

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

全社員の健康維持と能力開発向上



すべての社員の健康維持のため屋内禁煙を実施しています。また、自己啓発や能力開発に対する金銭的、時間的支援を行い、資格取得意欲、能力開発意欲を高め、達成感を実感することで働きがいを感じてもらい、生産性向上につなげています。



【電帳法・インボイス講習】



【防水施工技能士資格取得助成】



【安全運転講習】

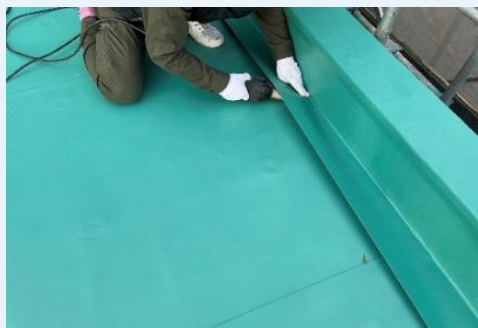
主な取組②

社業を通し持続可能な社会を実現



社業の防水工事で、高い技術力とCO2排出量削減効果のある断熱・遮熱の工法で耐久性のある建築物を実現し、住み続けられるまちづくりに寄与する取組を行っています。

作業現場では高い施工技術力と高度な施工管理力で材料のムダをなくし、材料を削減することで原料製造～輸送～施工～廃棄までのCO2排出量削減に寄与することができます。



【高い技術力でCO2排出量削減】



【廃棄物の分別・リサイクル】

〒963-0547 福島県郡山市喜久田町卸二丁目26番地1

【H P】 <https://www.fukubou.co.jp/>

【TEL】 024-963-1230

【MAIL】 andou@fukubou.co.jp (担当：安藤)





主な活動場所：福島県内全域

17 パートナシップで
目標を達成しよう



主な取組① SDGs関連情報の発信・啓もう

福島民報社は、国連の「SDGメディア・コンパクト」に加盟し、報道や各種事業を通じて持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

メディアの特性を生かし、「SDGs福島から未来へ」の連載や県内の学校、行政、企業、団体のSDGs活動を積極的に取材し、情報発信しています。

また、人と人をつなぎ、情報を伝える地方紙の原点に立ち、新聞を教育や健康増進に生かす出前講座なども進め、SDGsを指針とした新たな社会活動の展開を目指しています。



【学校や団体の取り組みを伝える記事】



【連載「SDGs福島から未来へ」】

主な取組② SDGs関連イベントを開催

2022年9月24、25の両日、郡山市のビッグパレットふくしまで第1回目となる「ふくしまSDGs博」を初開催。今年度は2025年9月20、21日の2日間「ふくしまSDGs未来博2025」として開催します。行政、団体、学校、企業などの出展やステージイベントなどで楽しみながらSDGsを学ぶ機会を提供し、県民のSDGsへの取り組みの気運をさらに高めます。



【2024年「ふくしまSDGs未来博」を伝える記事】



【2024年「ふくしまSDGs未来博」ポスター】

〒960-8068 福島県福島市太田町13-17

【H P】 <https://www.minpo.jp/>

【TEL】 024-531-4162

【MAIL】 narita@fukushima-minpo.co.jp (担当：成田)





福島民友新聞株式会社

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

ごみレス100～全国ワースト脱出作戦

昨年5月の創刊記念日に合わせ、県と連携したゴミ減量プロジェクト「ごみレス100～全国ワースト脱出作戦」を繰り広げること

を紙面で表明しました。

2022年度に県民1人が出したゴミの量が1日あたり1,021グラムで全国最多となり、7年ぶりのワースト1位となりました。

プロジェクトでは「1人1日マイナス100グラム」を目標に掲げ、家庭

でのごみ減量と呼び掛けています。

紙面などを通じて、各市町村のごみ減量や再資源化の取り組み、県からのお役立ち情報を伝えています。

福島民友新聞社は昨年8月、「みんゆうゼロカーボン宣言」を行い、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

きょう本紙創刊記念日

県と連携、ごみ減量推進

福島民友新聞社はきょう、創刊記念日を迎えました。1895（明治28）年の創刊以来、公正公平な報道に努めるとともに、古里の発展、環境保全に取り組みしてきました。この一環として、きょうから県と連携し、「ごみレス100」全国ワースト脱出作戦を繰り広げます。

県民1人が2022年度に出したゴミの量は1日あたり1,021グラムで、全国最多となり、7年ぶりのワースト1位を記録しました。プロジェクトでは「1人1日マイナス100グラム」を目標に掲げ、家庭でのごみ減量と呼び掛けています。

例えは、バナナ1本の皮の重さは約50グラム。ただバナナ1本の皮を減らすだけで、マイナス100グラムを達成できます。また、生ゴミの7/8割が水分といわれ、水を切ったり乾かしたりすれば、水も大分減らせます。歯さんも気軽に始めてみましょう。

福島民友新聞社は昨年8月、「みんゆうゼロカーボン宣言」を行い、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。引き続き社会的責任を果たし、削減にも貢献していきます。



主な取組②

報道や事業を通して県民とともに持続可能な社会の実現を目指す



新聞業の報道、営業、事業において、「誰ひとり取り残さない社会実現」というSDGsの理念を県民と共有し、解決に向けて行動に移していくことを目指しています。

企画ワッペン「子どもに未来を」「健康長寿」「プラスチック危機」で関連記事を目立つよう工夫し、紙面を通じて問題提起や啓発に取り組んでいます。本紙「ジュニア情報局」や出前講座「まなぶん」など授業で活用できるコンテンツもそろえ、将来の福島を担う人材育成を応援しています。

事業では「うつくしま・みずウオーク」や「サンシャインマラソン」などを展開し、環境共生と健康を考える機会を提供しています。



【うつくしま・みずウオーク】



【SDGメディアコンパクト加盟】





福浜大一建設株式会社

主な活動場所：福島県いわき市・三春町

主な取組①

ICTを活用した施工管理

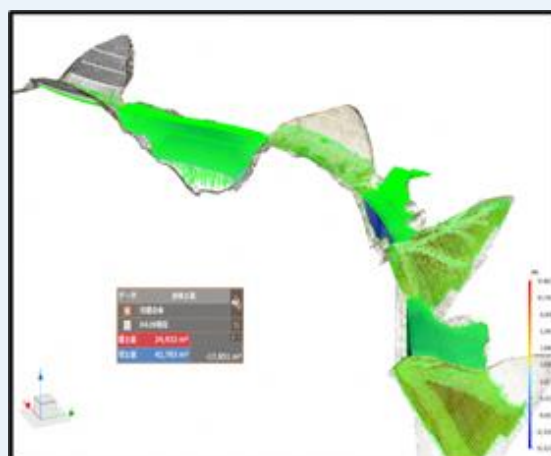


当社ではICT機器を活用した施工管理を行っています。ICT建機を利用した測量や、ドローンを使用した進捗数量の確認を行っています。また、施工した箇所を3Dレーザースキャナで測量し、そのデータを3Dソフトで読み込み解析をして出来形・品質管理をしています。

今後もICT技術を積極的に導入し、安全性・性能性・環境性の向上を目指します。



【ドローンを使用した進捗数量の確認】



【3Dソフトによる点群データ解析】

主な取組②

CO2排出量の削減



本社および各工事現場にてCO2排出量削減に取り組んでいます。

三春ダム施設現場では、草刈機を使用せず、動物を活用したエコ除草を行っています。現場付近にある牧場よりヤギやポニーをレンタルし、動物に草を食べてもらうことで除草作業を行っています。

また、各工事現場事務所と本社屋の屋上にソーラーパネルを設置し、太陽光発電を行い、電力の一部を太陽光で補っています。

※当社ではCO2排出量46%削減（2021年度比）を目指し、取り組みを進めています。



【エコ除草（ヤギ）】



【エコ除草（ポニー）】

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字中原16番地の1

【H P】 <https://fd-const.com/>

【TEL】 0246-54-8111

【MAIL】 shikita@fd-const.com（担当：式田）





富士工業株式会社

主な活動場所：福島県内

主な取組①

寄付活動



当社では地域社会への貢献を目的に、さまざまな寄付活動を行っています。白河市内の子ども食堂や、福島市にあるコミュニティブリッジひまわりへ食品や物品を寄贈し、継続的に支援しています。また、20年以上にわたり社会福祉法人白河学園へランドセルを贈る活動を継続しており、多くの子どもたちの新たな門出を支えています。さらに、年に一度、社員のご家族や地域の皆さまを招いて「感謝祭」を開催しています。この感謝祭は、2011年の東日本大震災後、地域を元気づけたいという想いから始まりました。以降、その売上金を全額、全国の復興支援活動に寄付しています。



【子ども食堂への寄付】



【社内で集まった寄付品（一部）】



【ランドセル寄付】

主な取組②

清掃活動



当社のビジョン「空気を変え、環境を変え、明日を豊かに変えていく。」を具現化する取り組みとして、地域の環境美化活動にも力を入れています。近隣エリアでの清掃活動に加え、猪苗代湖の清掃活動にも積極的に取り組み、地域の自然環境保全に貢献しています。これらの活動には社員だけでなく、そのご家族も参加できるようにしており、保険の加入や交通費や昼食の補助を行っています。特に社員のお子様の参加が多く、地元福島の環境保全を考える貴重な機会として、多くの方々からご好評をいただいています。



【清掃活動のようす】



【2024年猪苗代清掃】



【清掃活動のようす】

〒961-0102 福島県西白河郡中島村大字滑津字大池向11-2

【H P】 <https://www.fujioh.com/>

【TEL】 0248-52-2905 (代表)

【MAIL】 h-satoh@fujioh.com (担当名：総務課 佐藤)





フジモリ機工株式会社

主な活動場所：福島県いわき市小名浜



主な取組①

地域美化活動

いわき市で行っている「ボランティア清掃活動の支援制度」、『クリンピー応援隊』に参加し、会社周辺の清掃活動をしています。



【クリンピー応援隊集合写真】



【クリンピー応援隊活動の様子】

主な取組②

使用済み切手の回収活動



社内で回収した使用済み切手を、社会福祉法人いわき市社会福祉協議会様へ寄付致しました。

換金されたお金は、福祉施設の建設資金や障がい者のための社会啓発活動などの福祉推進に使われます。



【使用済み切手】

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字中原2-34

【H P】<https://fujimori-kiko.co.jp/>

【TEL】0246-52-0052

【MAIL】a.takakura@fujimori-kiko.co.jp（担当：高倉）





北都オーディオ株式会社

主な活動場所：福島県いわき市

主な取組①

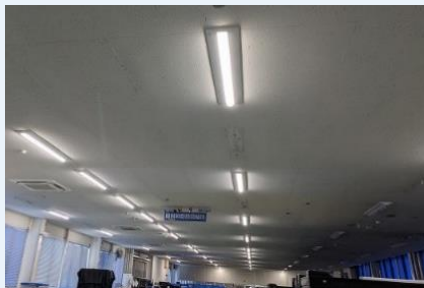
資源の循環と節電



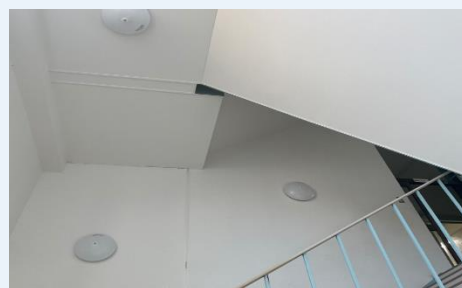
- 通路に人感センサーライトを導入し、自動で消灯するようにしています。
- 社内の照明すべてを蛍光灯からLED照明へ交換し、消費電力を抑えています。
- 消費電力量・ガソリン使用量に伴うCO2排出量の見える化を進めています。
- プラスチック製品を生産する際に排出されるランナーや不良品を材料ごとに分別し回収業者へ提供しています。また、段ボール・ストレッチフィルム等の梱包材を回収業者へ提供しています。



【ランナー・梱包材の回収】



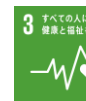
【社内照明の完全LED化】



【センサーライトの導入】

主な取組②

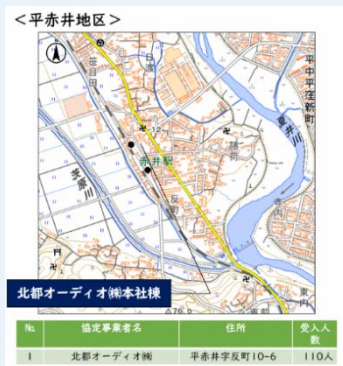
自然災害への備え・美化活動による地域への貢献 健康経営への取組



- 事業継続計画(BCP)に基づく対応。
- 会社周辺地域のハザードマップを掲示。
- 会社周辺の美化活動・赤井駅構内花壇への植栽活動を実施しています。
- 災害の際は会社の一部を避難場所として提供しています。(いわき市の一時避難所として指定されています。)
- ハラスメントに関するセミナーの受講とアンケート実施による実態把握。
- ストレスチェック診断の実施。



【ハザードマップの掲示】



【災害時一時避難所】



【赤井駅構内花壇の様子】





ほけんネットワーク株式会社

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

地域社会の防災・減災対策に 活用できる各種ツールの提供



当社は「SDGs経営簡易診断サービス」を積極的に展開しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（以下AD社）の協力のもと、地域社会の課題を解決するため防災・減災対策の支援をさせていただいております。

「防災家族会議」AD社が提供するアプリを用いて災害時の避難場所や防災用品の確認などを家族で共有することができます。

「事業継続力強化計画」計画書を策定することで中小企業を取り巻くリスクに備えることができ様々な特典を受けることができます。当社ではAD社と協力し策定支援をいたします。



【AD社アプリ内「防災家族会議」より】



【中小企業に様々な特典がある計画書】

主な取組②

健康経営の取組支援



確定拠出年金や業務災害保険、がん保険などを促進、加入いただくことで福利厚生制度の充実を図ります。また、メンタルヘルス・ストレスチェックや病気の予防・早期発見ツールを提供し、健康経営をサポートいたします。

ワークライフバランス



【メンタルヘルス・ストレスチェックサポートのご提供】



【スマホで簡単健康チェック】





三井住友海上火災保険株式会社 福島支店

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

SDGs取組支援（出張セミナー・宣言書作成支援）



- ・SDGsの取り組みを広めるため、弊社社員が講師となり無料でセミナーを開催させていただきます。
- ・事業を通じたSDGs取組を「見える化」すべく、金融機関様と連携し宣言書の作成も支援しております。



【SDGsセミナーの様子】



【SDGs宣言書イメージ】

主な取組②

防災・減災の取り組み



弊社で取り扱っている損害保険の中には、自然災害で保険金をお支払いする商品もあることから、これまでの保険金支払いを通じて蓄積された知見を元に、防災・減災に関わる施策の展示やセミナー等を行っています。



【防災・減災に関するセミナーの様子】



【県内イベントでの防災・減災に関わる施策展示の様子】





三本珈琲株式会社 福島支店

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

食品ロス削減と啓発活動



コーヒー製造時に発生する食品ロスを活用した製品の売上の一部で、販売店から食品ロスとなりうる食品を買い取り、フードバンク等必要な先に寄付する活動を2021年から継続実施している。同時に啓発活動として各種セミナーを実施し、食品ロス削減の大切さを伝えている。



【寄付のようす】



【セミナーのようす】

主な取組②

学校給食で未来を創る！ 「SUNSHINE COFFEE PROJECT」



国連WFP協会が行うレッドカップキャンペーンを「SUNSHINE COFFEE PROJECT」として応援し、コーヒーを通じた途上国への学校給食支援とレッドカップキャンペーンの認知度向上に寄与している。



【プロジェクトロゴ】



【POP掲示のようす】





明治安田生命保険相互会社 郡山支社

主な活動場所：福島県郡山市・福島市等16営業拠点所在自治体を
中心とした市町村



主な取組①

健康寿命の延伸

健康増進型商品・サービスや運動機会の提供等を通じ、県民の健康増進をサポートしています。県内の祭りや道の駅において健康増進イベント「ベジチェック」等を実施し、1日350グラムの野菜摂取が推奨されていることを紹介しました。

Jリーグとの協働によりサッカー教室イベントを通して県民の健康増進に協力しました。



【祭り・道の駅での健康チェックイベントの様子】



【サッカー教室の様子】

主な取組②

地方創生の推進



県内各自治体との連携協定をベースに地域の橋渡し役として「社会的つながり」を提供し、より多くの県民と各地域の資源・コミュニティをつなげることで「地域創生の推進」に貢献しています。

県内当社所在自治体・協定締結済自治体を中心に当社全従業員による「私の地元応援募金」を実施、県内各地の公民館にて出前講座提供と健康チェックを行っています。



【私の地元応援募金 贈呈の様子】



【公民館出前講座とベジチェックの様子】





株式会社諸井緑樹園

主な活動場所：福島県南相馬市（他相双管内）

主な取組①

環境保全への取り組みについて



- ①これまで廃棄処分をしていた鉢植えを当社専用園芸ハウスで丁寧に植替え、施肥、消毒などをし商品価値を高めより良い商品として販売をしています。（プランツロスの低減対策）
- ②太幹部（樹種による）は近年流行している薪ストーブを利用されている方へ無償で提供しています。（時期は不定期、使用者引き取り限定です）
- ③従来であれば混合油をエネルギーとして使用する芝刈作業の省力化と、カーボンニュートラルのために自家発電をエネルギーとするロボット芝刈機を導入しました。



【専用園芸ハウス】



【薪の無償提供】



【自家発電 太陽光パネル】

主な取組②

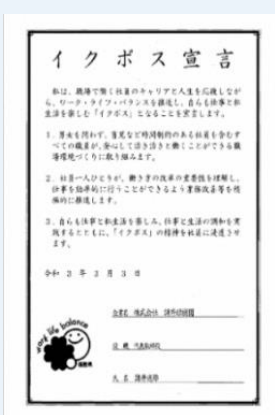
労働環境の整備と人権尊重 及び地域貢献について



- ①近年は特に夏の暑さが長いので、働く人に少しでも快適に過ごせるよう、シャワー室を設置しました。
- ②イクボス宣言の基、従業員のワーク・ライフ・バランスを推進しています。
育休及び産後パパ育休の制度を活用し、私生活を応援します。
また、「赤ちゃんの駅」として授乳スペースやオムツ替えスペースがあり、安心してご利用いただけます。
- ③学校のプール清掃を応援しています。
学校の教諭、PTAだけでは重労働なプール清掃を、自社の所有している高圧洗浄機を使用し、人手不足を補います。



【シャワー室】



【イクボス宣言】



【赤ちゃんの駅】



【プール清掃】





大和電設工業株式会社

主な活動場所：福島県いわき市



主な取組

水素燃料電池トラックの活用

・2023年8月から水素で発電する燃料電池（FC）小型トラックを導入し、工事現場への資材・機材の運搬等で使用開始。

（災害時等にはトラックの外部給電機能を非常電源として活用）

排気ガスによるCO2を排出しないトラックを工事に利用することでCO2を削減し、2050年カーボンニュートラル社会の実現へチャレンジしています。

※福島県とトヨタ自動車㈱で行っている水素活用の社会実装（「水素のある暮らし」の実装モデル）に向けた実証実験への参画です。



〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字桜町55-1

【H P】 <https://yamato-d.jp/>

【TEL】 0246-29-8888





株式会社ユニフォームネット

主な活動場所：福島県郡山市

12 つくる責任
つかう責任

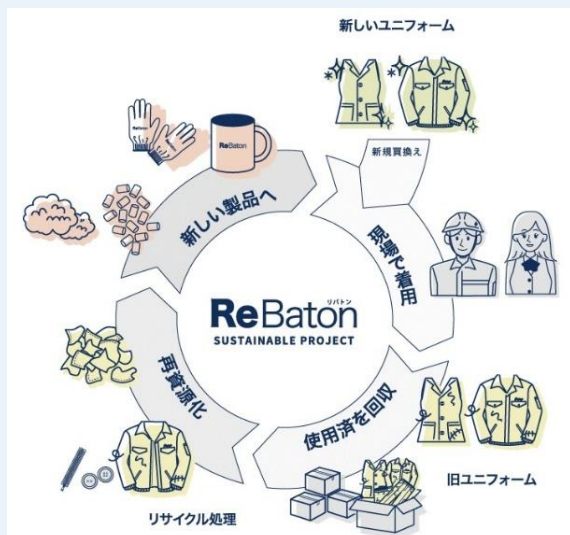


主な取組①

使用済みユニフォーム再資源化プロジェクト推進

企業用ユニフォームの新規買い替えの際に出る不要となった旧ユニフォームを回収し、適切なリサイクル処理ののちに再資源化、新たな製品の原料として活用する「ReBaton（リバトン） SUSTAINABLE PROJECT」を企画し、推進しています。

企業用ユニフォームを販売している会社として、ユニフォームを使用した「その後」までサポート致します。



主な取組②

リサイクル（アップサイクル）に関する外部サービスへの協力

12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう



本社にて使用済コンタクトレンズケースの回収を行い、コンタクトレンズ販売企業が推進するリサイクル（アップサイクル）サービスに提供。リサイクル製品として再生されます。

※協力サービス→HOYA株式会社のアイシティ ecoプロジェクト



〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目4番5号 オオタニビル4F

【H P】 <https://www.uniform-net.jp/>

【TEL】 03-5207-3191

【MAIL】 info@uniform-net.jp（担当：高橋）





株式会社ヨークベニマル

主な活動場所：福島県内全域

12 つくる責任
つかう責任



主な取組①

店頭における資源物回収

店舗店頭にて、食品トレー・牛乳パックを全店で、ペットボトル・古紙・段ボールを(一部店舗を除く)ほぼ全店で回収しております。回収したトレーは再生トレーへ、回収したペットボトルは再生ペットボトルやオリジナルブランド「セブンプレミアム」のパッケージにリサイクルされて、再び店頭で商品として販売されます。



主な取組②

フードドライブの取り組み

店舗店頭にて、フードドライブ用の箱を設置しています。ご不要な食品を回収して、食品を必要としている地域のフードバンク、生活困窮者支援団体、子ども食堂等に寄付する活動です。(一部店舗を除く)ほぼ全店で食品を回収しています。

1 見聞を
なくそう





有限会社吉田工作所

主な活動場所：福島県内全域

主な取組

廃棄物を再生原料化への推進



私たちは、企業パートナーとの連携を通じて、プラスチックリサイクルの推進に取り組み、持続可能な社会の実現を目指しています。

環境負荷を軽減し、循環型社会を実現するため、持続可能な資源活用の推進に企業パートナーと共に挑戦しています。



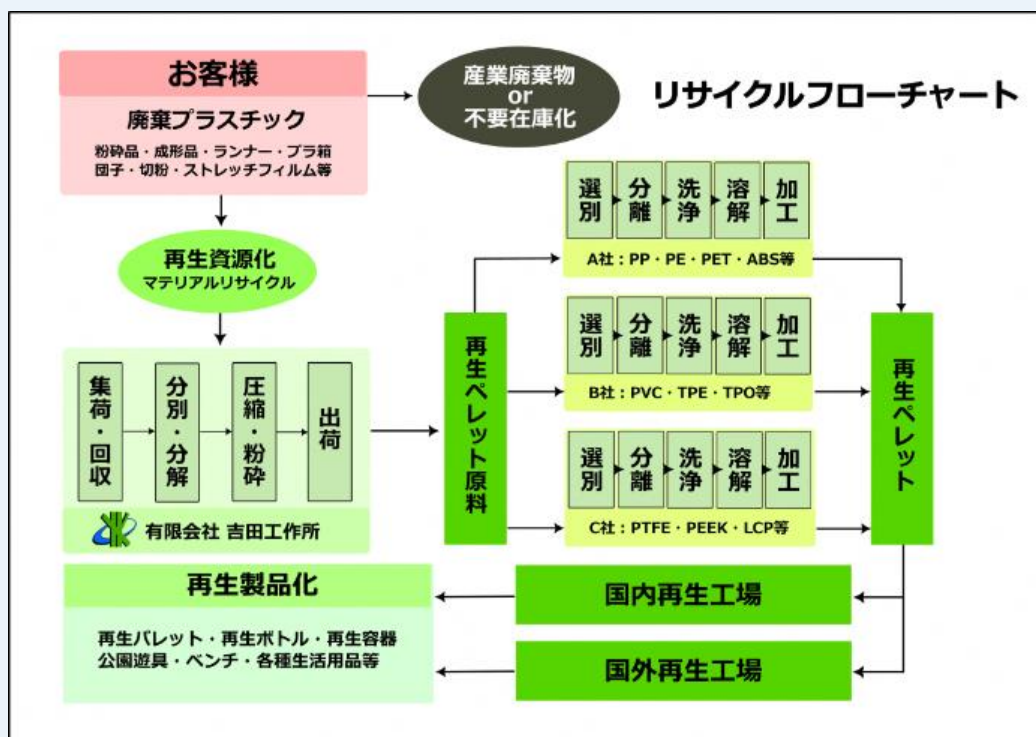
【廃棄品の回収・分別】



【粉碎・圧縮】
容積を小さくする



再生原料化へと繋げる



〒969-1301 福島県安達郡大玉村大山字岩ヶ作7番地

【HP】 <https://yoshidakousakusyo.com/>

【TEL】 0243-24-6607

【MAIL】 yoshidakousakuzyo@yahoo.co.jp (担当：白井)





リコージャパン株式会社 福島支社

主な活動場所: 福島県内全域

主な取組①

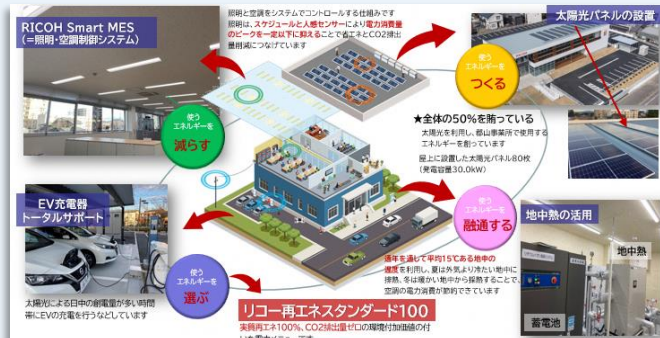
SDGsと事業の同軸化と 脱炭素ソリューション

リコージャパン福島支社では、我々が「社会課題起点で」業務に取り組み、成果を上げることで、業績達成や社内のプロセス改善だけでなく、社会課題解決を加速させると考え『事業とSDGsの同軸化』に取り組んでおります。

また、国内事業所として初めて地中熱を活用し『NearlyZEB』（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ゼブ））認証を取得。カーボンニュートラルへの貢献にチャレンジしております。ぜひ、ご見学にお越しください。



【NearlyZEB事業所（郡山）】



【脱炭素 省・創・畜】

主な取組②

社会貢献活動



お客様と共に持続可能な社会を目指して生態系保全活動（水源や森林を守る）やフードバンク活動にも毎年、積極的に参加しております。

また、小学生の社会科見学も積極的に受け入れております。

今後も社員がSDGsを“ジブンゴト”と捉え一人一人が自分の言葉でSDGsを語り、社内から社外へ、そして地域の皆様と一緒にSDGsの輪を広げていく活動をしてまいります。



【水源を守る生態系保全活動】



【ふくしま植樹祭への参加】



【フードバンク活動】



【社会科見学：地球温暖化防止についてディスカッション】





株式会社リビングソーラー

主な活動場所：浜通りを中心とした福島県内

主な取組①

脱炭素社会に向けた人づくり



いわき市と連携して市内の中学校に出向き、地球温暖化の基礎的な知識の習得と地球温暖化によって引き起こされる未来を理解しCO2削減のために自分たちにできることを考える授業を行いました。



【出前授業の様子】



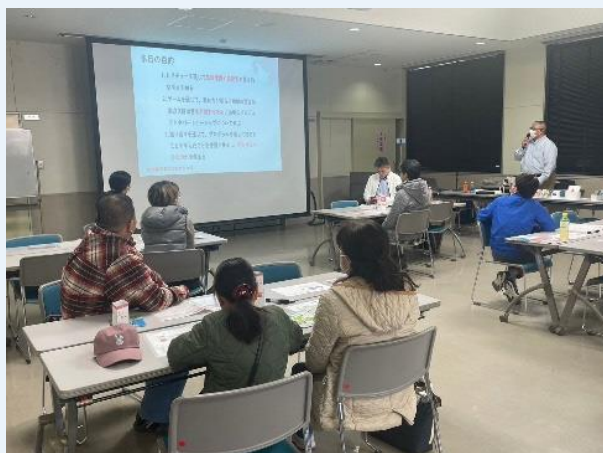
【生徒達による発表】

主な取組②

省エネ、省CO2対策の 啓蒙啓発活動



脱炭素と経済活動の関係性や地球温暖化防止の行動変容に働きかけるために、カードゲーム型の教育プログラムを活用し、分かりやすく学ぶ機会を創出しました。



【ワークショップ風景】



【カードゲームの様子】

〒971-8132 福島県いわき市鹿島町下矢田字沢目4-10

【H P】 <https://living-solar.biz>

【TEL】 0246-84-6777

【MAIL】 kashima@living-sola.biz (担当:小野)





渡辺エンジニアリング株式会社

主な活動場所：福島県福島市

主な取組①

太陽光発電による社用EV車の充電



我が社は、地球環境に優しい自然エネルギーに着眼し、地球温暖化に対応するための脱炭素社会を目指すこととして、事務所屋上の太陽光発電（9,000W）による充電設備を事務所内に設置して、社用EV車を走行させる電力を自給自足することにより、SDGsを推進しています。



【屋上設置の太陽光パネル】



【事務所内にある充電設備】



【社用EV車への充電】

主な取組②

家族でSDGs体験教室の開催



我が社は、福島市荒井地内に太陽光発電・水力発電を身近に学習することができる「だいこん村」を運営しています。また、「だいこん村」には自然環境に配慮して、木工品の制作が可能な設備を取りそろえています。

その「だいこん村」のGW企画として、令和6年5月5日に『令和6年 だいこん村 家族でSDGs体験教室』を開催しました。ソーラーゴーカート（木製手作り充電式電気自動車）の試乗体験のほか、「つくることの喜び」を感じてほしいと考え、無垢材で作る六角形のペン立てづくり木工体験教室もあわせて開催し、多くの方々にご参加いただきました。



【ソーラーゴーカート試乗体験】



【木工体験教室】



福島県総合計画について

▷ 福島県総合計画について

あらゆる政策を網羅した県の行政運営上の最上位計画であり、県の目指す方向性や施策を示す県づくりの基本的な指針です。目指す将来の姿をSDGsの視点でも描いています。

▷ 総合計画とSDGs

本県は、震災・原発事故という未曾有の複合災害からの復興の取組と、急激な人口減少などの全国共通の課題への取組を同時に進める必要があります。

本県が目指す将来の姿の実現に向けて、これらの課題を解決していく取組は、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの取組と方向性が一致しています。

計画では、世界の共通言語であるSDGsの視点を 取り入れ、福島県に心を寄せる人々との連携・協働を深めながら、福島県の復興・創生を着実に前に進め、「持続可能で豊かなふくしま」の実現を目指しています。



▷ 詳しくは県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/comprehensiveplan2022-2030.html>

プラットフォーム専用ホームページ・公式SNS

▶ プラットフォーム専用ホームページ

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/sdgs-pf/>

▶ 公式SNS



<Facebook>

※アカウント名「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」で検索ください。



<Instagram>

※アカウントID「@fukushima_sdgs_pf」で検索ください。



<LINE>

※公式アカウント検索欄にて、アカウント名「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」で検索ください。

皆様からのフォロー・お友達登録
お待ちしております！



ふくしま応援！『ペコ太郎』

その他

▶ ふくしま復興情報ポータルサイト

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal>



▶ 東日本大震災・原子力災害 10年の記録

<https://fukushima-10years-archives.jp/>



▶ 復興・再生のあゆみ（復興関連冊子）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/ps-fukkoukeikaku1151.html>



▶ 「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

<https://jitsugensuru-fukushima.jp/>



ふくしまSDGs推進プラットフォーム事務局：
福島県 企画調整部 復興・総合計画課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
Tel : 024-521-7109 Mail : f-sdgs-pf@pref.fukushima.lg.jp